

選 文 集  
聖 コーラン

---

*Selected Verses of the Holy Qur'ān*  
JAPANESE

1988年

日本アハマディア ムスリム協会発行

© 1988 Islam International Publications Limited.

Published by

ISLAM INTERNATIONAL PUBLICATIONS LTD.  
Islamabad, Sheephatch Lane, Tilford, Surrey, GU10 2AQ, U.K.

ISBN 1 85372 099 2

Printed by  
RAQEEM PRESS  
Sheephatch Lane, Tilford, Surrey GU10 2AQ U. K.

“全世界に及ぶアハマディア・ムスリム協会の  
創立100年祭の祝いに”



重い苦難と過酷な刑に耐え、愛と愛を広める努力の  
ために、アッラーの道に殉教したアハマディア・ムス  
リム達は、謹んでこの聖なる贈り物を捧げる。

1. アッラー、神	1
2. 天使達	5
3. 聖なるクルアーン	7
4. 予言者達	10
5. イスラムの聖なる予言者（ムハammad）	13
6. 礼拝	16
7. 断食	18
8. ザカート、施し	19
9. ハッジとカアバ神殿への巡礼	22
10. 聖なるメッセージの全人類への伝達	24
11. 作法、倫理、慣習	26
12. イスラムの基本的経済原則	31
13. 防衛と聖戦／神の御名の下での至高の 努力	33
14. 信者の性格と特質	36
15. 男女の平等の権利について	39
16. 利子—高利貸しの禁止	41
17. 予言	43
18. 自然に関する観祭	46
19. 聖なるコーランの教えとしての懇願	49
20. 暗誦のための聖なるコーランの短い数章	52

## まえがき

I 聖なるクルアーンの各節は、わかり易く明確な意味をもち、初心者に翻訳で読まれる最初の時でさえ、その貴い目的のある概念が形づくられてくるであろう。更に各節は、多くの比較的隠された意味をもつ多様な脈絡で独得に完成された体系の一部分で形づくられている。そうした脈絡を経て、その節に先行し、また後続していく節や章に、鎖のように連結しながら、どの節の主題も形づくられている。それは恰も、多様な径路を持つコミュニケーション・システムのようなものである。

上述に照らしてみれば、次の二点が明らかになってくる。

### II

1) しかし、どんなに念入りで細かく正確な翻訳であっても、非常に多面的で豊かな意味をもつ聖なるクルアーンとしては、翻訳は翻訳であり、それは一冊の本の意味を伝達するための手助けとなる手段としての、一部分でしかあり得ないのである。実際、聖なるクルアーンのいかなる人の翻訳でも、その読者に、原本に含まれているその完全なメッセージを伝えるのに充分であるということは不可能である。

2) 上述の如く不可能というより、当該の主題をわかり易く紹介するために、十分な表現形式をとるということ、それらをよく考慮して、与えられた主題に関して聖なるクルアーン

からいくつかの詩の見本を選び出すということは、さらにいっそう難しい。例えば、聖なるクルアーンで認められているとして経済原則を説明するために、神聖なるその本から、もし数編の詩が選ばれるとすれば、上述の理由によりその仕事は禁止されてきたであろうし、また、他の理由として、聖なるクルアーンの中の非常に広い範囲にまで、つまり経済の問題に直接関係していないところにさえも、そのイスラムの経済原則の原理が遍く及んでいるからである。

しかしながら、世界人口の大部分のところで、異なる言語を話し、異なる文化と異なる人権のグループに属する人達の多くが、この最もすばらしい本を学ぶための、如何なる機会も今だに奪れたままであるという事実を考える時、つまり、この緊急を要する重大な情勢が旭らかになってくる。実際のところ、それは一つの悲劇である、というのも、聖書協会からの報告による1808言語への聖書の翻訳ということに対して、聖なるクルアーンの方は、イスラム教が始まってから1400年の長い月日が流れた今日に至っても65言語にしか翻訳されていないということである。アハマディア・ムスリム協会の創立100年祭となる1989年までには、聖なるクルアーンを少なくとも50種に及ぶ世界の現代話し言葉に完全に翻訳するという、世界的観点からしても、大掛かりで高貴な仕事をアハマディア・ムスリム

協会は開始しているのである。

そして、完全な翻訳を目指し続行し、準備しながらも、一方ではその他の言語を話す多くの人達に、せめて一部分だけでも、聖なるクルアーンを紹介をしていこうとする試みがなされていることも付け加えておこう。これを適切に行う為に、イスラムの知識をわずかに持っている人、もしくは全然もたない続者のために、イスラムの基礎的な教えをいくつか紹介しようと、一つの主題、聖なるクルアーンの詩の賢明な選択がなされている。

この試みが知識の渇きを癒すことで成功するように願いつつ、また、神からの最終的な啓示、聖なるクルアーンの中に見られるより完全な導きを学ばんとする新たな欲望が生じることを我々は希望し、神に祈る。

節の選択は、下記の重要なテーマに互<sup>た</sup>ってなされている。

1. アッラー、神
2. 天使達
3. 聖なるクルアーン
4. 予言者達
5. イスラムの聖なる予言者（ムハammad）
6. 礼拝
7. 断食
8. ザカート、施し
9. ハッジとカアバ神殿への巡礼
10. 聖なるメッセージの全人類への伝達
11. 作法、倫理、慣習
12. イスラムの基本的経済原則
13. 防衛と聖戦／神の御名の下での至高の努力

14. 信者の性格と特質

15. 男女の平等の権利について

16. 利子—高利貸しの禁止

17. 予言

18. 自然に関する観祭

19. 聖なるコーランの教えとしての懇願

20. 暗誦のための聖なるコーランの短い数章

アラーの恵みによって、以下の言語について聖なるクルアーンの完全な翻訳が、アハマディア・ムスリム協会によって既になされている。

ベルガル語、デンマーク語、オランダ語、英語、ファンティ語、フィジー語、フランス語、ドイツ語、グルムキヒー語、ハウサ語、ヒンディー語、インドネシア語、イタリア語、キクユ語、ルガンダ語、ポルトガル語、ロシア語、スプラント語、スワヒリ語、スエーデン語、ウルドー語、ユーロバ語。

アラーの恵みにより、更に20言語への翻訳が、ほとんど出版の段階にまで来ているということをお知らせ出来、満足に思っている。まもなく、出版され、それらを紹介するつもりである。

それらの言語については下記の通りである。

アルバニア語、アサミ語、アーリア語、中国語、グジラティ語、日本語、韓国語、マレー語、マンドリー語、マラティ語、ノルウェー語、パシュト語、ポーランド語、シンディ語、スペイン語、スエーデン語、タミール語、テルグ語、トルコ語、ベトナム語、カンリー語。

各国語での聖なるクルアーンの手に入れ方に関しては世界のどの国のアハマディア・ム

スリム伝道協会でもいいし、また直接にその出版社へ問合わせてもいい。

聖なるクルアーンの原文につけられている見出しが、原文には無いということに気が付かれるかもしれない。それらは原文に無いものとして、はっきりと区別して示されている。

この一巻に紹介されている節の見本の選択は、アハマディア・ムスリム協会の最高指導者であるハズラト・ミルザ・ターヘル・アハマドによってなされたものである。

S.H. ABBASI

他 バキルツタスニーフ

及び

ナーゼル イシャート

ロンドン

# 1 アラー — 神

アラーとは神の名である。アラビア語において、アラーという語は、その他の事物や存在に対して使われることはない。他の言語に見うけられる神を表す名は、すべてその属性を示すものか、その説明的なものであり、複数形で用いられることが度々あるが、アラーという語は、複数形で用いられることは決してない。英語には、それに匹敵する語が見うけられないため、原語のアラーという名が、翻訳の中で、保たれているのである。

---

## 1. アッラー (神)

—ALLAH—GOD—

- 慈悲深く、恵み遍くアッラーの御名において。
- 讃えあれアッラー、万世の主。
- 仁慈、慈悲の主。
- 審判の日の執権者。
- あなたにのみわたしたちは仕え、あなたにのみわたしたちは救いを希う。
- 正しき道に導き給え—私たちに正しき道に？
- あなたが怒りたもう者、踏み迷う人々ではなく、恵みを垂れ給えし者の道に。 (1 : 1~7)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
○ الْحَمْدُ لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ  
○ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
○ مَلِكِ يَوْمِ الدِّينِ  
○ إِيَّاكَ نَعْبُدُ وَإِيَّاكَ نَسْتَعِينُ  
○ إِهْدِنَا الصِّرَاطَ الْمُسْتَقِيمَ  
○ صِرَاطَ الَّذِينَ أَنْعَمْتَ عَلَيْهِمْ غَيْرِ  
○ الْمَغضُوبِ عَلَيْهِمْ وَلَا الضَّالِّينَ

الفاتحة : ۱ - ۷



# アッラー (神)

- 天にあるもの、地にあるもの、すべてはアッラーを讃美し奉る。彼は偉大にして、賢哲にまします。
- 彼は天地の大権を掌握し給う。彼は生を与え、死を生ぜしむ。彼は萬事を支配し給う。
- 彼は始原にして最後なり、且つ隠顕なり、而して、萬事を熟知し給う。
- 天地を六日間で創造し、然る後、玉座に登り給うた御方は、彼なり。彼は地に入るもの、地より出づるものを知り、天より降るもの、天に昇るものを知り給う。而して、彼は、お前たち何処に在りても、常にお前たちと偕にまします。アッラーは、お前たちの所業そのすべてをみそなわし給う。
- 彼は天地の大権を掌握し給う。一切の事物は、アッラーに帰趨す。
- 彼は、夜を昼に変えさしめ、昼を夜に変えさしむ。彼は胸中に秘めたるものも知悉し給う。
- アッラー並にその使徒を信じ、彼に継がせて戴いたものの中からアッラーの道のために施しをせよ。お前たちのうち信じて慈善の施しをする者は、いずれ大なる報奨あらん。(57: 2～8)

سَبَّحَ لِلَّهِ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَهُوَ الْعَزِيزُ الْحَكِيمُ ﴿٥٧﴾

لَهُ مَلِكٌ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ يَحْيِي وَيُمِيتُ وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿٥٨﴾

هُوَ الْأَوَّلُ وَالْآخِرُ وَالظَّاهِرُ وَالْبَاطِنُ وَهُوَ بِكُلِّ شَيْءٍ عَلِيمٌ ﴿٥٩﴾

هُوَ الَّذِي خَلَقَ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضَ فِي سِتَّةِ أَيَّامٍ ثُمَّ اسْتَوَىٰ عَلَى الْعَرْشِ يَعْلَمُ مَا يَلِجُ فِي الْأَرْضِ وَمَا يَخْرُجُ مِنْهَا وَمَا يَنْزِلُ مِنَ السَّمَاءِ وَمَا يَعْرُجُ فِيهَا وَهُوَ مَعَكُمْ أَيْنَ مَا كُنْتُمْ وَاللَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ بَصِيرٌ ﴿٦٠﴾

لَهُ مَلِكٌ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَإِلَى اللَّهِ تُرْجَعُ الْأُمُورُ ﴿٦١﴾  
يُولِجُ اللَّيْلَ فِي النَّهَارِ وَيُؤَلِّجُ النَّهَارَ فِي اللَّيْلِ وَهُوَ عَلِيمٌ بِذَاتِ الصُّدُورِ ﴿٦٢﴾

ءَامِنُوا بِاللَّهِ وَرَسُولِهِ وَأَنْفِقُوا مِمَّا جَعَلَكُمْ مُسْتَحْلِفِينَ فِيهِ فَالَّذِينَ ءَامَنُوا مِنْكُمْ وَأَنْفَقُوا لَهُمْ أَجْرٌ كَبِيرٌ ﴿٦٣﴾

الحديد: ٢ - ٨

- 天にあるもの、地にあるもの、すべてはアッラーを讃美し奉る。大権を掌握し、讃美を一身に集める彼は、萬事を支配し給う。
- お前たちを創造したるは、彼なり。然れども、お前たちの中には信者もあれば、不信者もあり。アッラーは、お前たちの所業そのすべてをみそなわし給う。
- 彼は天地を真理に因って創造し、お前たちを造形するにあたっては美しい姿に形づくり。而して、最後の帰趨は彼の許なり。

سَبَّحَ لِلَّهِ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَمَا فِي الْأَرْضِ لَهُ الْمَلِكُ وَ لَهُ الْحَمْدُ وَهُوَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿٦٤﴾

هُوَ الَّذِي خَلَقَكُمْ مِنْكُمْ كَافِرًا وَمِنْكُمْ مُؤْمِنًا وَاللَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ بَصِيرٌ ﴿٦٥﴾

خَلَقَ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضَ بِالْحَقِّ وَصَوَّرَكُمْ فَأَحْسَنَ صُورَكُمْ وَإِلَيْهِ الْمَصِيرُ ﴿٦٦﴾

# アッラー（神）

- 彼は天地に於ける一切を知り、お前たちが隠すことも露わすことも知り給う。アッラーは、人が胸中に秘めたるものも熟知し給う。

(64 : 2 ~ 5)

- 穀粒や棗椰子の実に芽ばえさせる春はアッラーなり。彼は死より生をもたらし、また生けるものに死を与える者なり。これがアッラーなり。しかるに、お前たち、何故に背き去るのか？
- 彼は曙を出現させ、休息のために夜を設け、給うた。これが偉力者、深知者の摂理なり。
- また彼は、お前たちのために星辰を設け、陸でも海でも暗闇の中を行くときの道しるべとなせり。われらは思慮ある人々に神兆を詳述せり。
- また、彼こそは一箇の魂よりお前たちを作り出し、住居と宿るところを定め給うたお方なり。われらは理解できる人々に神兆を詳述せり。
- 天から水を降らせるのもまた彼なり。その中でわれらはよろずの草木に芽をふかせ、次いでその芽から青葉を出させ、それから鈴なりの穀粒を実らせる。また棗椰子の茎衣から枝もたわわに房なす椰子の実を垂らしめる。更にわれらは葡萄園とともに、橄欖、石榴など一似たものもあれば、似ないものもある一を育成する。果実に実がなり、それが熟するを見るがよい。まことにこの中には、信仰する人々への多くの神兆が存するではないか。

- しかるに、彼等は、アッラーが創り給うたにもかかわらず、選良をアッラーの仲間であると考えている。そればかりか、何も知りもしないくせに、虚妄にも彼に息子や娘たちがありとせり。彼に栄光あれ、彼は、彼等が彼に附加するもの遙か上に高くおわします。(6 : 96 ~ 101)

يَعْلَمُ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَيَعْلَمُ مَا تُسْرُونَ وَمَا تُعْلِنُونَ  
وَاللَّهُ عَلِيمٌ بِذَاتِ الصُّدُورِ

التغابن : ٢ - ٥

إِنَّ اللَّهَ فَالِقُ الْحَبِّ وَالنَّوَى يُخْرِجُ الْحَيَّ مِنَ الْمَيِّتِ  
وَيُخْرِجُ الْمَيِّتَ مِنَ الْحَيِّ ذَلِكُمْ اللَّهُ فَالِقُ  
تُوفِكُونَ

فَالِقُ الْإِصْبَاحِ وَجَعَلَ اللَّيْلَ سَكَنًا وَالشَّمْسَ وَ  
القَمَرَ حَسْبَانَا ذَلِكَ تَقْدِيرُ الْعَزِيزِ الْعَلِيمِ  
وَهُوَ الَّذِي جَعَلَ لَكُمْ النُّجُومَ لِيَهْتَدُوا بِهَا فِي  
ظُلُمَاتِ اللَّيْلِ وَالْبَحْرِ قَدْ فَضَّلْنَا الْآيَاتِ لِقَوْمٍ  
يَعْلَمُونَ

وَهُوَ الَّذِي أَنْشَأَكُمْ مِنْ نَفْسٍ وَاحِدَةٍ فَمُسْتَقَرُّو  
مُسْتَوْدَعٌ قَدْ فَضَّلْنَا الْآيَاتِ لِقَوْمٍ يَفْقَهُونَ  
وَهُوَ الَّذِي أَنْزَلَ مِنَ السَّمَاءِ مَاءً فَأَخْرَجْنَا بِهِ  
نَبَاتٍ كُلِّ شَيْءٍ فَأَخْرَجْنَا مِنْهُ خَضِرًا نُخْرِجُ مِنْهُ  
حَبًّا مُتَرَاكِبًا وَمِنَ النَّخْلِ مِنَ طَلْعِهَا قِنْوَانٌ  
دَانِيَةٌ وَجَنَّاتٍ مِنْ أَعْنَابٍ وَالزَّيْتُونَ وَالرَّيْحَانَ  
مُسْتَبْهًا وَعَيْرَ مُتَشَبِهٍ انظُرُوا إِلَى ثَمَرِهِ إِذَا  
أَثْمَرَ وَيَنْعِهِ إِنَّ فِي ذَلِكُمْ لَآيَاتٍ لِقَوْمٍ يُؤْمِنُونَ

وَجَعَلُوا لِلَّهِ شُرَكَاءَ الْجِنَّ وَخَلَقَهُمْ وَخَرَفُوا لَهُ بَيْنَ  
وَبَيْنَتٍ بَعِيرٍ عَلِيمٌ سُبْحَانَكَ وَتَعَالَى عَمَّا  
يَصِفُونَ

الأنعام : ٩٦ - ١٠١

## アッラー（神）

- ・アッラー、彼の外に神はなく、永生者、自存者なり。まどろみも睡りも彼を捕えることはない。天にあるもの、地にあるもの、すべては彼に属す。彼の許しなくして、彼に取りなしをなし得る者は誰ぞ？ 彼は彼等の前に何があったか、そして彼等の後に何かあるかを知り給う。彼の御意にかなわなければ、彼等は彼の知識いささかを毫も知り得ず。彼の王座あむつちは天地に広がり、これを護持して重荷いんたかとなることなし。彼こそは至高いとたかく、至大いとたかなるお方に伝わります。 (2 : 256)

اللَّهُ لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ الْحَيُّ الْقَيُّومُ لَا تَأْخُذُهُ سِنَّةٌ  
 وَلَا نَوْمٌ لَهُ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَمَا فِي الْأَرْضِ مَنْ  
 ذَا الَّذِي يَشْفَعُ عِنْدَهُ إِلَّا بِإِذْنِهِ يَعْلَمُ مَا بَيْنَ  
 أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ وَلَا يُحِيطُونَ بِشَيْءٍ مِنْ  
 عِلْمِهِ إِلَّا بِمَا شَاءَ وَسِعَ كُرْسِيُّهُ السَّمَوَاتِ  
 وَالْأَرْضَ وَلَا يَئُودُهُ حِفْظُهُمَا وَهُوَ الْعَلِيُّ الْعَظِيمُ

البقرة: ٢٥٦

- ・アッラー、彼の外に神はなく、彼の外に神はなし。見えざるものも、見えるものも知悉し給う。彼は仁慈者、慈悲者なり。
- ・アッラー、彼の外に神はなく、彼の外に神はなし、至高者なり、天主なり、平安の源なり、安全の授与者なり、守護者なり、偉力者なり、征服者なり、至尊者なり。神聖なるかなアッラー、人々が彼と併せ祀る神々とは比較にならぬ高みにまします御方。
- ・彼はアッラーなり、造物主なり、形成者なり。最高の美名はすべて彼の有もつなり。天にあるもの、地にあるもの、すべては彼を讚美し奉る。彼は偉大にして、賢哲にまします。 (59 : 23~25)

هُوَ اللَّهُ الَّذِي لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ عَلِيمٌ الْغَيْبِ  
 وَالشَّهَادَةِ هُوَ الرَّحْمَنُ الرَّحِيمُ

هُوَ اللَّهُ الَّذِي لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ الْمَلِكُ الْقُدُّوسُ  
 السَّلَامُ الْمُؤْمِنُ الْمُهِيبُ الْعَزِيزُ الْجَبَّارُ  
 الْمُتَكَبِّرُ سُبْحَانَ اللَّهِ عَمَّا يُشْرِكُونَ

هُوَ اللَّهُ الْخَلِيقُ الْبَارِئُ الْمُصَوِّرُ لَهُ الْأَسْمَاءُ  
 الْحُسْنَى يُسَبِّحُ لَهُ مَا فِي السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَهُوَ  
 الْعَزِيزُ الْحَكِيمُ

الحشر: ٢٣ - ٢٥

## 2 天使

天使という語は、文字どおり、“メッセージ伝達者”“媒介”という意味を持つ。このことにより、天使創造の目的が明らかになる。天使は、神のメッセージをもたらし、神の意志を世界で実行するのである。従って、天使とは肉体、精神両世界において、神が神の意志の実現のために選択した組織の一部をなすものなのだ。

精神世界において、天使の影響力は直接的なものであり、介在する媒介なくして機能するのである。それ故に、天使を信じようとしなないということは、神の光が人間に到達する道を遮断してしまうことになるであろう。

---

## 2. 天使達

### —ANGELS—

- ・讚美は挙げてアッラーの所屬、そは天地の創始者にして、二翼、三翼、四翼の天使を使者として用う。彼はその創れる者に、己れの欲するものを埋す、アッラーは萬事を支配するが故に。

(35 : 2)

الْحَمْدُ لِلَّهِ فَاطِرِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ جَاعِلِ الْمَلَائِكَةِ  
رُسُلًا وَإِلَىٰ أَعْيُنِهِمْ أَجْنَحًا مِّنْهُم مَّنْ ذُو عَيْنَيْنِ وَمِنْهُم مَّنْ ذُو سِتِّ عَيْنَيْنِ وَمِنَ الَّذِينَ يَنْزِلُ فِي الْخَلْقِ  
مَا يَشَاءُ إِنَّ اللَّهَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ

فاطر : ٢

- 云ってやるがよい「ガブリエルに敵対する者は誰か—ガブリエルこそアッラーの命をうけ、汝の心に降り、先立つ經典を完全ならしめ、信者のための導きとなし、吉報をもたらしたのだ」と。

• アッラーと、諸天使、使徒たち、並にガブリエルとミカエルに敵対する者、誰れであれ、アッラーはそのような無信心者を敵とみなす。

(2 : 98~99)

- 正義とはお前たちの顔を東に向けたり西に向けたりすることではない、本当の正義は、アッラー、最後の審判の日、諸天使、經典、そして預言者たちを信じ、アッラーを愛するが故に、自分の金を親族、孤児、貧者、旅路にある者、物乞い、そして奴隷を購うために費し、礼拝を怠らず、喜捨を惜しまず、約束を必ず履行し、困窮、艱難、戦事に際しては断固耐え忍ぶ者。こういう人たちこそ本当の人、神を畏れる人である。

(2 : 178)

- この使徒は主が啓示されたものを信じ、また信徒たちも。彼等は皆、アッラー、諸天子、並びに諸經典を信じ、使徒たちを信ず。(2 : 286)

- アッラーは諸天使並びに人間の中より使徒を選ぶ。げにアッラーはすべてを聴き、すべてをみそなわし給う。

(22 : 76)

- おお、汝等信徒たちよ！アッラーと使徒、並に使徒に啓示した經典と、それ以前に啓示したる經典を信ぜよ。誰であれアッラーと諸天子と諸經典と使徒たち、並に最後の日を信ぜざる者は、正しき道より遙か遠くへ踏み迷いたる者。

(4 : 137)

قُلْ مَنْ كَانَ عَدُوًّا لِجِبْرِيلَ فَإِنَّهُ نَزَّلَهُ عَلَى قَلْبِكَ بِإِذْنِ اللَّهِ مُصَدِّقًا لِمَا بَيْنَ يَدَيْهِ وَهُدًى وَبُشْرَىٰ لِلْمُؤْمِنِينَ

○

مَنْ كَانَ عَدُوًّا لِلَّهِ وَمَلَائِكَتِهِ وَرُسُلِهِ

○ وَجِبْرِيلَ وَمِيكَالَ فَإِنَّ اللَّهَ عَدُوٌّ لِلْكَافِرِينَ

البقرة: 98 - 99

لَيْسَ الْبِرَّ أَنْ تُولُوا وَجُوهَكُمْ قِبَلَ الْمَشْرِقِ

وَالْمَغْرِبِ وَلَكِنَّ الْبِرَّ مَنْ آمَنَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ

الْآخِرِ وَالْمَلَائِكَةِ وَالْكِتَابِ وَالنَّبِيِّينَ وَءَاتَى

الْمَالَ عَلَى حُبِّهِ ذَوَى الْقُرْبَىٰ وَالْيَتَامَىٰ

وَالْمَسْكِينِ وَابْنَ السَّبِيلِ وَالسَّائِلِينَ وَفِي

الرِّقَابِ وَأَقَامَ الصَّلَاةَ وَءَاتَى الزَّكَاةَ

وَالْمُؤْتُونَ بِعَهْدِهِمْ إِذْ عَاهَدُوا وَالصَّادِقِينَ

فِي الْبِئْسَاءِ وَالضَّرَاءِ وَحِينَ الْبَأْسِ أُولَئِكَ الَّذِينَ

صَدَقُوا وَأُولَئِكَ هُمُ الْمُتَّقُونَ

البقرة: 177

اللَّهُ يَصْطَفِي مِنَ الْمَلَائِكَةِ رُسُلًا وَمِنَ

○ النَّاسِ إِبْرَاهِيمَ إِسْحَاقَ وَيُوسُفَ إِنَّ اللَّهَ سَمِيعٌ بَصِيرٌ

الحج: 76

يَأْتِيهَا الَّذِينَ آمَنُوا آمِنُوا بِاللَّهِ وَرَسُولِهِ وَالْكِتَابِ

الَّذِي نَزَّلَ عَلَى رَسُولِهِ وَالَّذِي أَنْزَلَ

مِنْ قَبْلُ وَمَنْ يَكْفُرْ بِاللَّهِ وَمَلَائِكَتِهِ وَكُتُبِهِ وَرُسُلِهِ

○ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ فَقَدْ ضَلَّ ضَلَالًا بَعِيدًا

النساء: 137

### 3 聖なるクルアーン

クルアーンは、神自らにより、イスラム教の聖なる預言者に啓示された書物に与えられた名であり、その書物のなかには人類に対する最後の法が含まれている。“クルアーン” という語は、読まれてしかるべき書物という意味なのである。クルアーンは、その中に含まれる陳述やメッセージが、全く制限を受けない唯一の啓示書である。つまり、他の書物は全て、特定の時代、特定の国民のためのものであるが、クルアーンは、全ての時代、全ての国民のためのものなのである。(34 : 29)

### 3. 聖なるクルアーン

#### THE HOLY QURAN

- ・アリフ・ラーム・ミーム。※1 それこそは疑惑を容れざる經典なり、正しき道の嚮導なり。(2 : 2~3)

- ・こは誠に貴きクルアーンなり、そは載せて秘蔵の天の原簿の中にある (56 : 78~79)

- ・不変の掟その中にあり。(98 : 4)

- ・アッラーは經典の形式で最上の説教を降したり。その經典の諸節は相互に支えあい、さまざまな形を反復す。主を畏るる者はその朗唱に総毛

الْقُرْآنِ  
ذَلِكَ الْكِتَابُ لَا رَيْبَ فِيهِ هُدًى لِّلْمُتَّقِينَ

البقرة : ٢ - ٣

إِنَّهُ لَقُرْآنٌ كَرِيمٌ

فِي كِتَابٍ مَّكْنُونٍ

الواقعة : ٧٨ - ٧٩

فِيهَا كُتِبَ قِيمَةٌ

البيئ : ٤

اللَّهُ نَزَّلَ أَحْسَنَ الْحَدِيثِ كِتَابًا مُّتَشَدِّدًا مَّتَابِي

# 聖なるクルアーン

立ち、然る後、肌も心もアッラーの憶いに和らぐ。アッラーの嚮導はかくの如し。彼は之を以て己れの欲する者を導き給う。されど、アッラーが迷わしむる者には、如何なる嚮導もなかるべし。(39: 24)

## ・ハー・ミーム。※2

われらはこの明瞭なる経典を証拠として引証す。われらはそれを、お前たちが理解し得るよう、清潔且つ感銘的な言葉のクルアーンとなせり。而して、その内容は、われらが許にある至高にして知恵に満ちたる母典の中に記されたものなり。(43: 2~5)

・われらは始め、諸天と大地と山々に律法の保管を申し出たり。然るに、彼等はそれを負うことを辞退し、且つそれを恐れたり。されど、人間はそれを負えり。げに人間は不正をあえてなし、

※1 われはアッラー全知者なり。

※2 すべての賞讃と榮譽に価する主より。

且つ怠惰なり。

・結局アッラーは、偽信者の男も女も、また多神教徒の男も女も、必ずや懲らしめるべし。されど、アッラーは、信仰する男や女には慈顔を向け給う。アッラーは寛大にして、慈悲深くまします。(33: 73~74)

・云え「たとい選良と庶民が力を合わせ、互に助け合って、此のクルアーンに似たものを作らんとしても、彼等は断じて之に類するものを作る能わず」と。

・げにわれらは此のクルアーンの中で、一切の比喩をあげ、いろいろな遣りかたで人間に解明したれど、大多数の人間は不信仰ゆえに一切を拒否せり。(17: 84~90)

نَفْسَ عِرْمَنَهُ جُلُودَ الَّذِينَ يَخْشَوْنَ رَبَّهُمْ ثُمَّ تَلِينُ جُلُودُهُمْ وَقُلُوبُهُمْ إِلَىٰ ذِكْرِ اللَّهِ ذَٰلِكَ هُدَىٰ اللَّهِ يَهْدِي بِهِ مَن يَشَاءُ وَمَن يُضِلِلِ اللَّهُ فَمَا لَهُ مِن

الزمر: ٢٤

هَادٍ

حَم

وَالْكِتَابِ الْمُبِينِ

إِنَّا جَعَلْنَاهُ قُرْآنًا عَرَبِيًّا لَعَلَّكُمْ تَعْقِلُونَ

وَإِنَّهُ فِي أُمِّ الْكِتَابِ لَدِينَا لَعَلِيَّ حَكِيمٌ

إِنَّا عَرَضْنَا الْأَمَانَةَ عَلَى السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَالْجِبَالِ فَأَبَيْنَ أَنْ يَحْمِلْنَهَا وَأَشْفَقْنَ مِنْهَا وَحَمَلَهَا الْإِنْسَانُ إِنَّهُ

كَانَ ظَلُومًا جَهُولًا

يُعَذِّبُ اللَّهُ الْمُنَافِقِينَ وَالْمُنَافِقَاتِ وَالْمُشْرِكِينَ وَالْمُشْرِكَاتِ وَيَتُوبُ اللَّهُ عَلَى الْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ

وَكَانَ اللَّهُ غَفُورًا رَّحِيمًا

الزخرف: ٢ - ٥

قُلْ لَئِنِ اجْتَمَعَتِ الْإِنْسُ وَالْجِنُّ عَلَىٰ أَنْ يَأْتُوا بِمِثْلِ هَٰذَا الْقُرْآنِ لَا يَأْتُونَ بِمِثْلِهِ وَلَوْ كَانَتْ بَعْضُهُمْ لِبَعْضٍ

ظَاهِرًا

وَلَقَدْ صَرَّفْنَا لِلنَّاسِ فِي هَٰذَا الْقُرْآنِ مِن كُلِّ مَثَلٍ فَأَبَىٰ

أَكْثَرُ النَّاسِ إِلَّا كُفُورًا

بنی اسرائیل: ٨٩ - ٩٠

# 聖なるクルアーン

- 主よりの明白な証拠に基づいて、主の神兆の真理なるを証言する彼に従い、しかも橋導にして慈悲なるモーゼの經典によって先立たれた者が、どうして詐欺師であるべきか？これを信ずる人々は、眞の信者なり。而してこれを信ぜず反対する徒輩は、火獄が約束の地とならん。されば、汝これを疑うなかれ。まことにこれは、汝の主よりの真理なり。されど、人々の多くは之を信ぜず。(11:18)

أَفَمَنْ كَانَ عَلَىٰ بَيِّنَةٍ مِّن رَّبِّهِ وَيَتْلُوهُ شَاهِدٌ مِّنْهُ  
وَمِن قَبْلِهِ كُتِبَ مُوسَىٰ إِمَامًا وَرَحْمَةً أُولَٰئِكَ  
يُؤْمِنُونَ بِهِ. وَمَنْ يَكْفُرْ بِهِ. مِنَ الْأَخْرَابِ قَالَتَرَارُ  
مَوْعِدُهُ فَلَا تَكُ فِي مِرْيَةٍ مِّنْهُ إِنَّهُ الْحَقُّ مِن رَّبِّكَ  
وَلَكِنَّ أَكْثَرَ النَّاسِ لَا يُؤْمِنُونَ ﴿١٨﴾

هود: 18

- これはわれらが啓示せる祝福されし經典にして、以前に降されたものを確証するものなり。汝をして諸邑の母並にその周囲の人々を警めんがためなり。(6:93)

وَهَذَا كِتَابٌ أَنْزَلْنَاهُ مَبْرُوكٌ مُّصَدِّقٌ لِّلَّذِي بَيْنَ  
يَدَيْهِ وَلِنُنذِرَ أُمَّ الْقُرَىٰ وَمَنْ حَوْلَهَا

الأنعام: 93

- お前たちのために我が恩恵を充たし、お前たちの宗教としてイスラームを選びたり。(4:4)

أَلْيَوْمَ أَكْمَلْتُ لَكُمْ دِينَكُمْ وَأَتَمَمْتُ عَلَيْكُمْ نِعْمَتِي  
وَرَضِيتُ لَكُمُ الْإِسْلَامَ دِينًا  
المائدة: 4

- これはわれらが降したる有難い經典なり。さればこれに従い、罪から身を守るべし、さすればお前たち慈悲に浴すであらう。(6:156)

وَهَذَا كِتَابٌ أَنْزَلْنَاهُ مَبْرُوكٌ فَاتَّبِعُوهُ وَاتَّقُوا  
لَعَلَّكُمْ تُرْحَمُونَ ﴿١٥٦﴾

- われらが少しずつ降すクルアーンは、信者にとっては治療であり慈悲なれど、そはただ不義なす徒輩の損を増すばかりなり。(17:83)

وَنَزَّلْنَا مِنَ الْقُرْآنِ مَا هُوَ شِفَاءٌ وَرَحْمَةٌ لِّلْمُؤْمِنِينَ  
وَلَا يَزِيدُ الظَّالِمِينَ إِلَّا خَسَارًا ﴿٨٣﴾



## 4 預言者

聖なるクルアーンでは、アラーは全ての人間に、導きを与えたと断言されている。ゆえにあらゆる預言者の真実性、正しさを断言している。預言者は、人々をアラーに導くため、歴史上の特定の時代に特定の国民に対して、送りこまれてきた。聖なる預言者は、最後の法に関連した預言者であった。そして、それ故にイスラム教のメッセージは、それ以前の全ての経典を含み、それらに取ってかわっているのである。預言者の地位は、イスラム教内のみで続いている。今や預言者が現れるのは聖なる預言者の光をもたらすためであって、新しい法を持ちこむことはない。

聖なるクルアーンは、預言者の地位の肯定的な側面を描いただけでなく、全預言者に対して挙げられた否定的な性質も写しだしている。ファラオは、全ての預言者の敵となる力のコーラン的シンボルである。

---

### 4. 預言者達

#### PROPHETS

- アッラーは諸天使並に人間の中より使徒を選ぶ。げにアッラーはすべてを聴き、すべてをみそなわし給う。(22 : 76)

اللَّهُ يَصْطَفِي مِنَ الْمَلَائِكَةِ رُسُلًا وَمِنَ النَّاسِ إِنَّ اللَّهَ سَمِيعٌ بَصِيرٌ ﴿٧٦﴾

الحج : ٧٦

- われらはそれぞれの民の中から一人の使徒を選び、説かしめたり「アッラーを崇拜し、邪神を避けよ」と。彼等の或る者をアッラーは導き給い、又他の者を迷うがままに任まかされたり。されば各地を巡めぐりて、預言者たちを偽いつはりる者と遇した徒輩とくわいの末路や如何ん、と見るがよい！

(16 : 37)

- 汝の主は天使たちに云い給うた。「我は地上に代理者を置くつもりだ」と天使たちが抗議した。「世を紊ごたごたし、流血の災を惹き起すような者を置かれますか？われわれはあなた様の神聖さを賞揚し、讚美してやまないというのに」すると主は答えられた「わしは汝等の知らぬことを知っておる」

(2 : 31)

- まことにわれらは、ノアとその後の預言者たちに啓示した如く、汝に啓示せり。すなわち、アブラハム、イスマエル、イサク、ヤコブと其の種族、イエス、ヨブ、ヨナ、アロン、ソロモン、そしてダビデに詩篇を与えたり。

(4 : 164)

- アブラハムが主の命令によって試めされ、それを果したときのことを思い起せ。主は云われた。「わしは汝を人々の導師としよう」そこでアブラハムは「私の子孫からも導師を？」と申し上げた。主は仰せられた「わしの聖約は罪人には及ばない」と。

(2 : 125)

- まこと我らは、モーゼに經典を与え、彼の後に幾多の使徒を遣わした。そして、マリヤの子のイエスに明證を与え、聖霊によって彼を強固ならしめた。ところが、汝等、使徒が汝等の意にそまぬ啓示を携えてくると、その度に汝等横柄に振る舞い、或る者をば嘘つきとののしり、また或る者を殺害すらしたではないか？

(2 : 88)

وَلَقَدْ بَعَثْنَا فِي كُلِّ أُمَّةٍ رَسُولًا أَنِ اعْبُدُوا اللَّهَ وَاجْتَنِبُوا الطَّاغُوتَ فَمِنْهُمْ مَنْ هَدَى اللَّهُ وَمِنْهُمْ مَنْ حَقَّتْ عَلَيْهِ الضَّلَالَةُ فَمِيسِرُوا فِي الْأَرْضِ فَانظُرُوا كَيْفَ كَانَ عَاقِبَةُ

الْمُكَذِّبِينَ ﴿٣٧﴾ النحل: ٣٧

وَإِذْ قَالَ رَبُّكَ لِلْمَلَأِكَةِ إِنِّي جَاعِلٌ فِي الْأَرْضِ خَلِيفَةً قَالُوا أَتَجْعَلُ فِيهَا مَنْ يُفْسِدُ فِيهَا وَسْفِكُ الدِّمَاءَ وَنَحْنُ نُسَبِّحُ بِحَمْدِكَ وَنُقَدِّسُ لَكَ قَالَ إِنِّي أَعْلَمُ مَا لَا تَعْلَمُونَ ﴿٣١﴾

البقرة: ٣١

إِنَّا أَوْحَيْنَا إِلَيْكَ كَمَا أَوْحَيْنَا إِلَى نُوحٍ وَالْتَبَيَّنْ مِنْ بَعْدِهِ ۚ وَأَوْحَيْنَا إِلَى إِبْرَاهِيمَ وَإِسْمَاعِيلَ وَإِسْحَاقَ وَيَعْقُوبَ وَالْأَسْبَاطِ وَعِيسَى وَأَيُّوبَ وَيُوشَعَ وَهَارُونَ وَسُلَيْمَانَ وَءَاتَيْنَا دَاوُدَ زَبُورًا ﴿١٦٤﴾ النساء: ١٦٤

وَإِذْ ابْتَلَىٰ إِبْرَاهِيمَ رَبُّهُ بِكَلِمَاتٍ فَأَتَمَّهُنَّ قَالَ إِنِّي جَاعِلُكَ لِلنَّاسِ إِمَامًا قَالَ وَمِنْ ذُرِّيَّتِي قَالَ لَا

يَنَالُ عَهْدِي الظَّالِمِينَ ﴿١٢٥﴾

البقرة: ١٢٥

وَلَقَدْ آتَيْنَا مُوسَى الْكِتَابَ وَقَفَّيْنَا مِنْ بَعْدِهِ بِالرُّسُلِ ۚ وَءَاتَيْنَا عِيسَى ابْنَ مَرْيَمَ الْبَيِّنَاتِ وَأَيَّدْنَاهُ بِرُوحِ الْقُدُسِ أَفَكُلَّمَا جَاءَكُمْ رَسُولٌ بِمَا لَا تَهْوَىٰ أَنْفُسُكُمْ اسْتَكْبَرْتُمْ فَفَرِّقُوا كَذِّبْتُمْ وَفَرِّقَانُ فَذَلِكُمْ

البقرة: ٨٨

- かくしてわれらはイスラエルの子らをして海を渡らしめたり。ファラオとその軍勢はここぞとばかり果敢に追跡せしが、溺死その身に襲いかかるに及んで、ファラオは云えり「イスラエルの子らが信ずるお方の外に神無きを信ず。我は彼に服従する人々の一人なり」と。
- 何事ぞ！ 今となって！ 以前汝は服従せず、作悪者の一人なりしに非ずや。
- されど今日われらは汝をその肉体と共に救わん。そは汝をして汝の後に来る人々への神兆たらしめんがためなり。されどまことに多くの人々がわれらの神兆に軽視す。(10 : 91~93)

وَجَوْرًا نَابِيَّ إِسْرَائِيلَ يَلِ الْبَحْرِ فَأَنْبَعَهُمْ فِرْعَوْنُ وَجُنُودُهُ بَغْيًا وَعَدُوًّا حَتَّى إِذَا أَدْرَكَهُ الْعَرْقُ قَالَ  
 ءَأَمِنْتُ أَنَّهُ لَا إِلَهَ إِلَّا الَّذِي آمَنْتُ بِهِ يَبْنُوا لِلْإِسْرِ يَلُ وَأَنَا  
 مِنَ الْمُسْلِمِينَ

ءَأَلْتَنَ وَقَدْ عَصَيْتَ قَبْلُ وَكُنْتَ مِنَ  
 الْمُفْسِدِينَ

فَالْيَوْمَ نُنَجِّيكَ بِيَدِنَا لَتَكُونَنَّ لِمَنْ خَلَقَكَ آيَةً  
 وَإِنْ كَثُرَ مِنَ النَّاسِ عَنَّا إِنَّا لَنَعْلَمُوكَ

يونس : 91 - 93

- また、經典で言及したマリヤのことを物語れ。その時彼女は、家人を避けて東の方へ引籠り、
- 彼等の目から己れを蔽い隠したる時、われら天使を彼女のもとへ遣わしたれば、天使は完璧き人間の形を以て彼女の前に出現せり。
- マリヤは云えり「我、汝より離れて慈悲深い神の御許に逃れたり、汝もし神を畏るるなば」と。
- 彼は答えり「我はただ汝に、純潔なる男の子を授けんがために来し使者にすぎず」と。
- マリヤは云えり「男未だ我に触れざれば、しかも、不身持ちでない身が、如何にして子供を持ち得ようぞ？」と、たらしめざりき。
- 彼は答えり「さもありません。なれど、汝の主は云う『これわれには容易し。われらがかくするは、その子を以て人間への神兆となし、われらからの慈悲たらしめんがためなり。こは命定されたことなり』」と。

وَأَذْكُرُ فِي الْكِتَابِ مَرْيَمَ إِذِ انْتَبَدَتْ مِنْ أَهْلِهَا  
 مَكَانًا شَرْفِيًّا

فَاتَّخَذَتْ مِنْ دُونِهِمْ حِجَابًا فَأَرْسَلْنَا إِلَيْهَا رُوحَنَا  
 فَتَمَثَّلَ لَهَا بَشَرًا سَوِيًّا

قَالَتْ إِنِّي أَعُوذُ بِالرَّحْمَنِ مِنْكَ إِنْ كُنْتَ تَقِيًّا

قَالَ إِنَّمَا أَنَا رَسُولُ رَبِّكِ لِأَهَبَ لَكِ غُلَامًا  
 زَكِيًّا

قَالَتْ أَنَّى يَكُونُ لِي غُلَامٌ وَلَمْ يَمَسِّنِي بَشَرٌ وَلَمْ  
 أَكُ بَغِيًّا

قَالَ كَذَلِكَ قَالَ رَبُّكَ هُوَ عَلِيمٌ هَيِّئٌ وَلَنَجْعَلَنَّ  
 آيَةً لِلنَّاسِ وَرَحْمَةً مِنَّا وَكَانَ أَمْرًا مَقْضِيًّا

# 預言者達

- かくて彼女はその子を孕み、彼と共に遠隔のところへ引籠れり。
- 分娩の苦痛の余り、彼女は棗椰子の幹に取りすがりたり。彼女は云えり「おお！我かくなる以前に死に、忘れ去られし者なりせば！」と。
- すると、下から彼女を呼ぶ者ありて、云う「悲しむなかれ。汝の主は、汝の足もとに一筋の小川を備えたり。
- 棗椰子の幹を自分の方に揺り動かせ。さすれば、熟れた新鮮な実が汝の上に落ちん。
- さらば、食い且つ飲み、汝の目を静めよ。而して、汝もし誰かに会わば『我は慈悲なる神に斉戒を誓いたり、されば、我どなたとも今日は物云えず』と云え」と。
- かくて、彼女は、嬰兒を抱いて一族のもとに帰り来れり。彼等は云えり「マリヤよ、汝はまことにけしからぬことをなせり。
- アロンの姉よ、汝の父は悪人に非ず、母もまた淫らな女に非ざりしに！」と。
- すると、マリヤは己が子を指させり。彼等は云えり「我等、摇篮の中なる嬰兒と如何にして語り得るか？」と。
- すると、その子は云えり「我はアッラーの僕なり。彼經典を我に授け、我を預言者となせり。
- 而して、彼は、我いずこに居ようとも祝福し賜い、我が生ある限り礼拝と慈善を怠らぬよう命じたり。

فَحَمَلَتْهُ فَانْتَبَدَتْ بِهِ مَكَانًا قَصِيًّا ﴿٦٠﴾

فَأَجَاءَهَا الْمَخَاضُ إِلَى جَنْحِ النَّخْلَةِ قَالَتْ يَلَيْتَنِي

مِثُّ قَبْلِ هَذَا وَكُنْتُ نَسِيًّا مَنْسِيًّا ﴿٦١﴾

فَنَادَاهَا مِنْ تَحْتِهَا أَلَا تَحْزَنِي قَدْ جَعَلَ رَبُّكِ تَحْتَكِ

سَرِيًّا ﴿٦٢﴾

وَهُزِّي إِلَيْكِ بِجِذْعِ النَّخْلَةِ تُسَاقِطُ عَلَيْكَ رُطْبًا

جَنِيًّا ﴿٦٣﴾

فَكُلِي وَاشْرَبِي وَقَرِّي عَيْنًا فَأِمَّا تَرَيْنَ مِنَ الْبَشَرِ أَحَدًا

فَقُولِي إِنِّي نَذَرْتُ لِلرَّحْمَنِ صَوْمًا فَلَنْ أُكَلِّمَ الْيَوْمَ

إِنْسِيًّا ﴿٦٤﴾

فَأْتَتْ بِهِ قَوْمَهَا تَحْمِلُهَا قَالُوا لَوِ ائْتَمَرْنَا لَقَدْ جِئْتِ

شَيْئًا فَرِيًّا ﴿٦٥﴾

يَتَأَخَذَ هَرُونَ مَا كَانَ أَبُوكَ أَمْرًا سَوْءًا وَمَا كَانَتْ

أُمُّكَ بَغِيًّا ﴿٦٦﴾

فَأَسَارَتْ إِلَيْهِ قَالُوا كَيْفَ نُكَلِّمُ مَنْ كَانَ فِي الْمَهْدِ

صَبِيًّا ﴿٦٧﴾

قَالَ إِنِّي عَبْدُ اللَّهِ آتَنِي الْكِتَابَ وَجَعَلَنِي نَبِيًّا ﴿٦٨﴾

وَجَعَلَنِي مَبَارَكًا أَيِّنَ مَا كُنْتُ وَأَوْصَانِي بِالصَّلَاةِ

وَالزَّكَاةِ مَا دُمْتُ حَيًّا ﴿٦٩﴾

- また、母に孝養をつくすことを命じたり。而して、我を高慢にして、不幸なる者たらしめざりき。
- 我が生まれし日に我が上に平安ありしが、我が死なぬ日に、また、再び甦らん日にも我が上に平安あらん」と。

- これがマリヤの子イエスなり。人々が疑心を抱くところの真相とは、これなり。

(19 : 17~35)

- 思い起すがよい、アッラーが預言者を介して人々と契約を結ばれし時仰せられたことを。「わしはお前たちに經典と、智慧を授け、しかる後に、お前たちの經典を完成するために一人の使徒を遣わすであろう。お前たち彼を信じ、彼を助けよ」更に仰せられた。「お前たちこれを承諾するか、この件に関してお前たちに課する責任を承諾するか？」すると彼等は答えた。「承知いたしました」彼は仰せられた。「ならば証人たれ、われもまたお前たちと共に証人たらん」

(3 : 82)

- また、思い起せ、われらが預言者たちから、汝から、ノアから、アブラハム、モーゼ並びにマリヤの子イエスから誓約を取りし時のことを。われらは彼等から実に厳肅なる誓約を取れり。

(33 : 8)

وَبِرَّابُولَدِي وَلَمْ يَجْعَلِي جَبَّارًا شَقِيًّا ﴿١٧﴾

وَالسَّلَامُ عَلَيَّ يَوْمَ وُلِدْتُ وَيَوْمَ أَمُوتُ وَيَوْمَ أُبْعَثُ حَيًّا ﴿٣٥﴾

ذَلِكَ عِيسَى ابْنُ مَرْيَمَ قَوْلَ الْحَقِّ الَّذِي فِيهِ يَمْتَرُونَ ﴿١٧﴾

مریم : ۱۷ - ۳۵

وَإِذْ أَخَذَ اللَّهُ مِيثَاقَ النَّبِيِّينَ لَمَآءَآءَآتَيْكُمْ مِنْ كِتَابٍ وَحِكْمَةٍ ثُمَّ جَاءَكُمْ رَسُولٌ مُصَدِّقٌ لِمَا مَعَكُمْ لَتُؤْمِنُنَّ بِهِءَ وَتَنْصُرُنَّهُ قَالَ ءَأَقْرَرْتُمْ وَأَخَذْتُمْ عَلَىٰ ذَٰلِكُمْ إِصْرِي ؕ قَالُوا بَلَىٰ قَدْ أَقْرَرْنَا وَأَنَا مَعَكُمْ مِنَ الشَّاهِدِينَ ﴿٨٢﴾

آل عمران : ۸۲

وَإِذْ أَخَذْنَا مِنَ النَّبِيِّينَ مِيثَاقَهُمْ وَمِنْكَ وَ مِنْ نُوحٍ وَإِبْرَاهِيمَ وَمُوسَىٰ وَعِيسَى ابْنِ مَرْيَمَ وَأَخَذْنَا مِنْهُم مِّيثَاقًا عَلِيمًا ﴿٨﴾

الأحزاب : ۸

## 5 イスラム教の聖なる預言者

預言者は、紀元前570年、8月、メッカで生誕した。彼は、ムハンマドと名づけられたがそれは、賛美されたるものという意味である。

預言者が、30歳をこえると、神の彼に対する愛は、ますます大きくなっていった。彼は、多神教やメッカの人々の多くの悪徳に、反感を抱き、2〜3マイル離れたほら穴で、定期的に黙想することにした。40歳にして、はじめて、そこで啓示を受けた。クルアーン最初の節（96：2―6）において、彼は、人間を創造し、神自らの愛、そして、自然における人間の種をまいた。たったひとりの神の名を公言するよう命令された。そして、世界は筆を通じて、すべての知識を教えられるのだと預言された。これらの節において、クルアーンの概略が示されている。

---

## 5. イスラムの聖なる預言者（ムハンマド）

### THE HOLY PROPHET OF ISLAM

- おお、預言者よ、げにわれらは汝を証人として、朗報の伝達者として、警告者として遣わしたり、
- また、アッラーの命を奉じて人々をアッラーの許へ召喚する者として、光明を与える燈火として。
- されば、信者たちに向って、アッラーから素晴らしい賜物をたまわるべしとの朗報を伝えよ。

(33:46~48)

يَا أَيُّهَا النَّبِيُّ إِنَّا أَرْسَلْنَاكَ شَهِيدًا وَمُبَشِّرًا  
وَنَذِيرًا

وَدَاعِيًا إِلَى اللَّهِ بِإِذْنِهِ وَسِرَاجًا مُنِيرًا

وَبَشِيرِ الْمُؤْمِنِينَ بِأَنَّ لَهُمْ مِنَ اللَّهِ فَضْلًا كَبِيرًا

الأحزاب: ٤٦ - ٤٨

# イスラムの聖なる預言者（ムハammad）

・云うがよい、「おお人間どもよ、わたしはまこと、天地の主権を掌握するアッラーより遣わされたる使者なり。彼の外に神なし。彼は生を与え死を賜う。さればアッラー並にその使者、すなわちアッラー並にその御言葉を信ずる純粋無垢なる預言者を信じ、彼に従うべし、しからば正しく導かれん」と。(7 : 159)

・われらが汝を全人類に遣わしたは、ただ朗報伝達者並に警告者としてのみ。然るに、世人の大半は之を知らず。(34 : 29)

・汝には必ず尽きせぬ報奨あり。げに汝は、崇高なる美德を有す。(68 : 4~5)

・ムハammadはお前たちの中の誰の父にも非ず、ただアッラーの使徒であり、諸預言者の印章なり。アッラーは萬事を知悉し給う。(33 : 41)

・げにアッラーの預言者は、アッラーとの対面と審判の日を切望し、不断にアッラーを念ずる者にとり、素晴らしい手本なり。(33 : 22)

・アッラーとその天使たちはこの預言者を祝福す。おお、汝等信徒たちよ、お前たちも彼を祝福し、平安の言葉を以て挨拶せよ。(33 : 57)

・ムハammadはアッラーの使徒なり。彼と偕にある者たちは、不信者に対するは容赦なく、信者同志では優しく親切なり。汝は彼等が低頭平身し、アッラーの恩寵と嘉納とを求むるを見ん。彼等の印しは面上にあり、そは叩頭の痕。こは律法における彼等の描写なり。また、福音における描写も、新芽が芽吹き、力を増し、丈夫な茎に成長し、種まく人を喜ばせる一粒の種の成

قُلْ يٰٓأَيُّهَا النَّاسُ إِنِّي رَسُولُ اللَّهِ إِلَيْكُمْ جَمِيعًا الَّذِي لَهُ مُلْكُ السَّمٰوٰتِ وَالْأَرْضِ لَا إِلَهَ إِلَّا اللَّهُ يُحْيِي وَيُمِيتُ فَمَا مَنِ ابْتَدَعَ رِسُوْلَهٗ اَلنَّبِيِّ اَلْأُمِّيِّ الَّذِي يُؤْمِنُ بِاللَّهِ وَكَلِمٰتِهٖ وَاتَّبَعُوْهُ لَعَلَّكُمْ تَهْتَدُوْنَ ﴿١٥٩﴾ الأعراف: ١٥٩

وَمَا أَرْسَلْنَاكَ إِلَّا كَافَّةً لِّلنَّاسِ بَشِيرًا وَنَذِيرًا وَلٰكِنَّ أَكْثَرَ النَّاسِ لَا يَعْلَمُوْنَ ﴿٢٩﴾ سبأ: ٢٩  
وَإِنَّ لَكَ لَأَجْرًا غَيْرَ مَمْنُونٍ ﴿٥٥﴾

وَإِنَّكَ لَعَلَىٰ خَلْقٍ عَظِيمٍ ﴿٤٠﴾ القلم: ٤٠ - ٥  
مَا كَانَ مُحَمَّدٌ أَبَا أَحَدٍ مِّن رِّجَالِكُمْ وَلٰكِن رَّسُوْلَ اللَّهِ وَخَاتَمَ النَّبِيِّينَ وَكَانَ اللَّهُ بِكُلِّ شَيْءٍ عَلِيمًا ﴿٤١﴾ الأحزاب: ٤١

لَقَدْ كَانَ لَكُمْ فِي رَسُولِ اللَّهِ أُسْوَةٌ حَسَنَةٌ لِّمَن كَانَ يَرْجُو اللَّهَ وَالْيَوْمَ اَلْآخِرَ وَذَكَرَ اللَّهَ كَثِيْرًا ﴿٢٢﴾ الأحزاب: ٢٢

إِنَّ اللَّهَ وَمَلَائِكَتَهُ يُصَلُّوْنَ عَلَى النَّبِيِّ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا صَلُّوْا عَلَيْهِ وَسَلِّمُوا تَسْلِيمًا ﴿٥٧﴾ الأحزاب: ٥٧

مُّحَمَّدٌ رَّسُوْلُ اللَّهِ الَّذِيْنَ مَعَهُ أَشِدَّاءُ عَلَى الْكٰفِرِيْنَ رَحِيْمًا يَنْهٰهُمْ بِذُنُوْبِهِمْ لِيَرْجِعُوْا سَبِيْلًا يَرْضُوْنَ اَسِيْمًا هُمْ فِي وُجُوْهِهِمْ مِّنْ اَثَرِ السُّجُوْدِ ذٰلِكَ مَثَلُهُمْ فِي التَّوْرٰتِ وَمِثْلُهٗ فِي الْاِنْجِيْلِ كَرَجٍ اَخْرَجَ سَطْرَهٗ فَازْرُقُهٗ فَاَسْتَغْلَطَ فَاَسْتَوٰى عَلَى

# イスラムの聖なる預言者（ムハammad）

育の如しとある。種まく人々の喜ぶありさまが、また不信者どもの憤怒の原因とならん。アッラーは信じて善行を積む人々に、容赦と素晴らしい褒賞とを約束せり。（48：30）

سُوْقِيَهُمْ يُعْجَبُ الزَّرْعَ لِيَغِظَ بِهِمُ الْكُفَّارَ وَعَدَّ اللَّهُ  
الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ مِنْهُمْ مَغْفِرَةً  
وَأَجْرًا عَظِيمًا ﴿٣٠﴾ الفتح:

・云つてやるがよい、「お前たちアッラーを愛し奉るならば、我に従え。さすればアッラーはお前たちを愛で、その罪を赦し給うであろう。アッラーは寛大にして、慈悲深くおわします」と。

قُلْ إِنْ كُنْتُمْ تُحِبُّونَ اللَّهَ فَاتَّبِعُونِي يُحْبِبْكُمُ اللَّهُ  
وَيَغْفِرْ لَكُمْ ذُنُوبَكُمْ وَاللَّهُ غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿٣٠﴾

・云つてやるがよい「アッラー並に使徒に従え」と。しかし、もし彼等背き去らば、アッラーは不信者どもを愛し給わぬことを忘れるな。（3：32～33）

قُلْ أَطِيعُوا اللَّهَ وَالرَّسُولَ فَإِنْ تَوَلَّوْا فَإِنَّ اللَّهَ لَا  
يُحِبُّ الْكَافِرِينَ ﴿٣٣﴾

آل عمران: ٣٢ - ٣٣

・おお、使徒よ！主より啓示されたるものを宣揚せよ。それをなさずば、汝は主の使命を毫も果たさざるなり。アッラーは人々から汝を護るであろう。まことにアッラーは、信ぜざる民を導き給わぬ。（5：68）

يَأْتِيهَا الرَّسُولُ بَلِّغْ مَا أُنزِلَ إِلَيْكَ مِنْ رَبِّكَ وَإِنْ لَمْ  
تَفْعَلْ فَمَا بَلَغْتَ رِسَالَتَهُ وَاللَّهُ يَعْصِمُكَ مِنَ  
النَّاسِ إِنَّ اللَّهَ لَا يَهْدِي الْقَوْمَ الْكَافِرِينَ ﴿٦٨﴾

المائدة: ٦٨



## 6 礼 拜

祈りは、イスラム教の5つの柱の2番目であり、1番目は、神の統一を信じることである。祈りこそが、我々の創造主と我々との親交を確立し、強め、創造主に近づくための最も有力な手段なのである。神が、祈りを耳にしその祈りに答えるのは、力強い現象である。イスラム教の祈りの概念は、至上の神の前に、アラーの恩寵、慈悲、力を確信したる嘆願者が、直接的にこだわりなく魂を注ぎ出すということである。祈拜では、人間とその創造主との間に媒介は、不必要なのである。

## 6. 礼 拜

### WORSHIP

- 彼等は、アッラーに仕え、<sup>じゆんぱう</sup>遵奉の誠をつくし、正直で礼拝を遵守し、且つ定め<sup>じやうめい</sup>の喜捨を納める以外は命ぜられざりき。これこそ正しい道を踏む人々の宗教なり。(98 : 6)

- われ、選良と庶民を創りたるは、われを崇拜させんがためなり。(51 : 57)

- 太陽が傾き、薄暗くなったところから夜の暗闇に至るまで礼拝を行い、<sup>あけ</sup>而して、黎明にクルアーンを誦読せよ。げに黎明のクルアーン誦読は、とりわけ神に御嘉納あらせられ給う。

وَمَا أُمِرُوا إِلَّا لِيَعْبُدُوا اللَّهَ مُخْلِصِينَ لَهُ الدِّينَ حُنَفَاءَ وَيُقِيمُوا الصَّلَاةَ وَيُؤْتُوا الزَّكَاةَ وَذَلِكَ دِينٌ الْقَيِّمَةِ ﴿٦﴾

البيّنة : ٦

وَمَا خَلَقْتُ الْجِنَّ وَالْإِنْسَ إِلَّا لِيَعْبُدُونِ ﴿٥٧﴾

الذاريات : ٥٧

أَقِمِ الصَّلَاةَ لِذِكْرِكَ الشَّمْسُ إِلَى عَسَقِ اللَّيْلِ وَقُرْءَانَ الْفَجْرِ إِنَّ قُرْءَانَ الْفَجْرِ كَانَتْ مِنْهُ هُدًى

## WORSHIP

また、汝、汝には規定外の勤行<sup>つとせ</sup>としてクルアーンの読誦のために、深夜に礼拝せよ。恐らく主は、汝を光栄ある地位に登らしめん。

(17 : 79~80)

وَمِنَ اللَّيْلِ فَتَهَجَّدْ بِهِ نَافِلَةً لَكَ عَسَىٰ أَنْ يَبْعَثَكَ  
رَبُّكَ مَقَامًا مَّحْمُودًا ﴿٧٩﴾

بنی اسرائیل : ۷۹ - ۸۰

حَافِظُوا عَلَى الصَّلَوَاتِ وَالصَّلَاةِ الْوُسْطَىٰ  
وَقُومُوا لِلَّهِ قَانِتِينَ ﴿٢٣٩﴾

البقرة : ۲۳۹

- 厳密に各礼拝を守れ、とりわけ手が塞がっている場合の礼拝を、恭敬<sup>きょうけい</sup>を満<sup>みち</sup>してアッラーの御前<sup>みまへ</sup>に立て。

(2 : 239)

## 7 断食

聖なるクルアーンでは、断食はラマダンの太陰月の夜明けから日没までと規定されてきた。断食とは、正しさを助長し、求道者が精神的な高みを登ることが容易になるような修養である。断食をする者は、全ての神の恵みを知るようになる。このようにして、断食は、人が神の恵みを情け深く受け入れる手助けとなる。

---

## 7. 断食

### FASTING

- おお、汝等信徒たちよ！お前たち以前の人々に規定した如く、断食をお前たちに規定する、公正な人たらんがために。
- 断食は決められた日数を守らなければならぬ。ただし、お前たちのうち病める者、または旅路にあるものは、同じ日数を別の日に断食してよろしい。また断食不可能な者は一貧者への施しによって、償いとする。自発的な服従の気持で善い行いをすることが、己れのためにはよりよいことだ。断食はお前たちのためになることである。もしお前たちこれを知るならば。

(2 : 184~185)

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا كُتِبَ عَلَيْكُمُ الصِّيَامُ  
كَمَا كُتِبَ عَلَى الَّذِينَ مِن قَبْلِكُمْ  
لَعَلَّكُمْ تَتَّقُونَ ﴿

أَيَّامًا مَّعْدُودَاتٍ فَمَن كَانَ مِنكُم  
مَّرِيضًا أَوْ عَلَىٰ سَفَرٍ فَعِدَّةٌ مِّنْ أَيَّامٍ أُخَرَ  
وَعَلَى الَّذِينَ يُطِيقُونَهُ فِدْيَةٌ طَعَامُ

مِسْكِينٍ فَمَن تَطَوَّعَ خَيْرًا فَهُوَ خَيْرٌ لَّهُ وَأَن  
تَصُومُوا خَيْرٌ لَّكُمْ إِن كُنتُمْ تَعْلَمُونَ ﴿

البقرة: 184 - 185

## 8 アラーの道における支出

聖なるクルアーンに規定された資本課税は、ザカートという名そのものにより、その目的を示している。その語は、清め、育てるものという意味である。全ての富から、社会の分けまえを控除することにより、その残りが、それを利用する権利を与えられた人のために、清められることになるのである。収入を社会への奉仕にあてることにより、社会の富は、育まれるのである。ザカートは、イスラム教の3番目の柱で、イスラム教における仲間への責任の重要性を反映している。

---

### 8. ザカート、施し

#### SPENDING IN THE WAY OF ALLAH

• 礼拝を怠らず、喜捨を惜しまず、<sup>سُئِلَ</sup>施すともがらと一緒に<sup>سُئِلَ</sup>施せよ。(2:44)

• されば、親類縁者に相当なものを与えよ、また貧しい者や旅人にも。そはアッラーの恩寵を求める者のためには、最もよし。かかる者は、必ず栄えるべし。(30:39)

• 彼等の富には、請い求めたる者、また差ちて求めざりし者への負担ありき。(51:20)

• 正当と認められたる己が財産でも常に施す用意をしておく人々—

وَأَقِيمُوا الصَّلَاةَ وَآتُوا الزَّكَاةَ وَارْكَعُوا مَعَ الرَّاكِعِينَ ﴿٤٤﴾

فَأْتِ ذَا الْقُرْبَىٰ حَقَّهُ وَالْمِسْكِينَ وَابْنَ السَّبِيلِ ذَلِكَ خَيْرٌ لِلَّذِينَ يُرِيدُونَ وَجْهَ اللَّهِ وَأُولَٰئِكَ هُمُ الْمُفْلِحُونَ ﴿٣٩﴾

وَفِي أَمْوَالِهِمْ حَقٌّ لِّلسَّائِلِ وَالْمَحْرُومِ ﴿٢٠﴾

وَالَّذِينَ فِي أَمْوَالِهِمْ حَقٌّ مَّعْلُومٌ ﴿٢٠﴾

# ザカート、施し

- ・請い求める者、また羞ちて求めざる者のために。  
(70 : 25~26)

لِلسَّائِلِ وَالْمَحْرُومِ ﴿٧٠﴾

العارج : ٢٥ - ٢٦

- ・喜捨の用途は、貧者に困窮者、喜捨の業務に携わる人、心を和らげる人々、奴隷の身の代金、負債者の救済、アッラーの道、並に旅人のためにあり—これアッラーの掟なり。アッラーはすべてを知り、賢哲にまします。(9 : 60)

إِنَّمَا الصَّدَقَتُ لِلْفُقَرَاءِ وَالْمَسْكِينِ وَالْعَمِلِينَ عَلَيْهَا وَالْمُؤَلَّفَةِ قُلُوبِهِمْ وَفِي الرِّقَابِ وَالْغُرَمِينَ وَفِي سَبِيلِ اللَّهِ وَأَبْنِ السَّبِيلِ فَرِيضَةً مِّنَ اللَّهِ وَاللَّهُ عَلَيْهِمْ حَكِيمٌ ﴿٦٠﴾

- ・おお、汝ら信徒よ！取り引きも、友情も、取りなしもないその日がやって来る前に、われらがお前たちに与えしものを費うのだ。不義なす輩は不信心者なり。(2 : 255)

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا أَنْفِقُوا مِمَّا رَزَقْنَاكُمْ مِمَّنْ قَبْلِ أَنْ يَأْتِيَ يَوْمٌ لَا بَيْعٌ فِيهِ وَلَا خُلَّةٌ وَلَا شَفْعَةٌ وَالْكَافِرُونَ هُمُ الظَّالِمُونَ ﴿٢٥٥﴾

- ・アッラーの道のために己が富を費す者を譬えてみれば、一粒の穀物に七つの穂が芽生え、その各々の穂に百の穀粒が実ったようなもの。アッラーは思し召しを垂れ賜いし者には、倍加して与え給う。アッラーは寛裕にして、すべてに通曉し給う。

مَثَلُ الَّذِينَ يُنْفِقُونَ أَمْوَالَهُمْ فِي سَبِيلِ اللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنْبَتَتْ سَبْعَ سَنَابِلٍ فِي كُلِّ سَنَابِلَةٍ مِائَةٌ حَبَّةٌ وَاللَّهُ يُضَعِفُ لِمَنْ يَشَاءُ وَاللَّهُ وَاسِعٌ عَلِيمٌ ﴿٢٥٥﴾

- ・アッラーの道のために己が富を費やし、嘲りや侮辱でその施しを追わざる者は主より褒賞を授かるであろう。彼等はもはや、怖れもなければ、悲愁もなし。(2 : 262~263)

سَبِيلِ اللَّهِ ثُمَّ لَا يَتَّبِعُونَ مَا أَنْفَقُوا مَنَّا وَلَا أَذَى لَهُمْ أَجْرُهُمْ عِنْدَ رَبِّهِمْ وَلَا خَوْفٌ عَلَيْهِمْ وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ ﴿٢٦٢﴾

- ・アッラーを悦ばそうと望み、かつ己が精神を強めるために富を費す者を譬えるなら、兵の上の果樹園に似たり。大雨が降れば果物の収獲は二倍となる。よしまた降らずとも、お湿り程度でこと足りる。アッラーはお前たちの行動を視そなわし給う。(2 : 266)

وَمَثَلُ الَّذِينَ يُنْفِقُونَ أَمْوَالَهُمُ ابْتِغَاءَ مَرْضَاتِ اللَّهِ وَتَنبِيئًا مِّنْ أَنْفُسِهِمْ كَمَثَلِ جَنَّةٍ بِرَبْوَةٍ أَصَابَهَا وَابِلٌ فَكَانَتْ أَكْطَلَهَا ضِعْفَيْنِ فَإِن لَّمْ يُصِبْهَا وَابِلٌ فَطُلَّ وَاللَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ بَصِيرٌ ﴿٢٦٦﴾

- ・夜となく昼となく、ひそかにまた公然と・己が財を施す者は、主より報酬を授かるであろう。

الَّذِينَ يُنْفِقُونَ أَمْوَالَهُمُ بِالْإِتِّمَالِ وَالنَّهَارِ سِرًّا وَعَلَانِيَةً فَلَهُمْ أَجْرُهُمْ عِنْدَ رَبِّهِمْ

## ザカート、施し

彼等の身には恐怖は来たらず、悲哀にもあうまじき。  
(2 : 275)

وَلَا خَوْفٌ عَلَيْهِمْ وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ ﴿٢٧٥﴾

- 見よ、お前たちは、アッラーの道のために費すことを求められた者なり。然るに、お前たちの中には吝嗇なる者もあり。吝嗇な者は、かえって自分自身が損をするのみ。アッラーは独り満ち足りてましますが、貧しきはお前たちなり。而して、たとえお前たちが背き去るとき、彼は他の民を以て、お前たちに代えん。さすれば、彼等はお前たちの様にならざるべし。

(47 : 39)

هَآأَنْتُمْ هَآؤِلَآءِ تُدْعَوْنَ لِتُنْفِقُوا فِي سَبِيلِ اللّٰهِ  
فَمِنْكُمْ مَنْ يَبْخُلُ وَمَنْ يَبْخُلْ فَإِنَّمَا يَبْخُلُ  
عَنْ نَفْسِهِ ۗ وَاللّٰهُ الْعَنِىُّ ۗ وَأَنْتُمْ الْفُقَرَاءُ ۗ وَإِن  
تَتَوَلَّوْا يَسْتَبْدِلْ قَوْمًا غَيْرَكُمْ ثُمَّ لَا يَكُونُوا  
أَمْثَلَكُمْ ﴿٤٧﴾

## 9 巡礼(HAJJ)とカーバ神殿(神の家)

クルアーンは、すべてのイスラム教徒に、可能で、旅が安全であるならば、一生のうちに一度、メッカへの巡礼を行うよう要求している。クルアーンによれば、巡礼の中心は、神の礼拝のために初めて建てられた家、カーバだということである。巡礼の目的は、イスラム教徒の心に、国際的な兄弟精神の感情を生み出すことと、ある儀式を行うことにより、巡礼者の心に、神は、すべての生命の焦点であるということ的印象づけることである。

### 9. ハッジとカアバ神殿への巡礼

#### PILGRIMAGE (HAJJ) AND KABA

- 人々をアッラーの道から誘惑し、そこの居住者たる砂漠からの来訪者たるを問わず、われらが万人のために設けたる聖殿に参詣に来る人を妨害する者、また、聖殿内で正しい道から不法に逸脱せんとする不信者どもについては一われらは必ず之に痛刑を嘗めさせん。
- われらがアブラハムに聖殿の位置を選定し、かく云いたる時のことを思い起こせ。「何者もわれに配するなかれ。而して、巡周する者、立礼する者、お辞儀する者、平伏す者のために、わが聖殿を常に浄めよ。
- 而して、人々に向って巡礼を宣言せよ。彼等は汝のところへ歩いて来るもあり、また、それぞれ遠路瘦せた駱駝に乗って来るもあり、

إِنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا وَيَصُدُّونَ عَن سَبِيلِ اللَّهِ  
وَالْمَسْجِدِ الْحَرَامِ الَّذِي جَعَلْنَاهُ لِلنَّاسِ سَوَاءً  
الْعَٰكِفُ فِيهِ وَالْبَادِ وَمَنْ يَرِدْ فِيهِ بِالْإِحْكَامِ  
يُظَلِّمِ نَفْسَهُ مِنْ عَذَابِ أَلِيمٍ ﴿١٠٧﴾  
وَإِذْ بَوَّأْنَا لِإِبْرَاهِيمَ مَكَانَ الْبَيْتِ أَنْ لَا  
تُشْرِكْ بِي شَيْئًا وَطَهَّرَ بَيْتِي لِلطَّائِفِينَ  
وَالْقَائِمِينَ وَالرُّكَّعِ السُّجُودِ ﴿١٠٨﴾  
وَأَذِّنْ فِي النَّاسِ بِالْحَجِّ يَأْتُوكَ رِجَالًا وَعَلَى  
كُلِّ ضَامِرٍ يَأْتِينَكَ مِنْ كُلِّ فِجٍّ عَمِيقٍ ﴿١٠٩﴾

## ハッジとカアバ神殿への巡礼

・こは彼等のためにその功德を体得させ、定められた日数の間、授け賜りたる四足獣の上にアッラーの御名を唱えさせんがためなり。然る後、汝等はそれを食ひ、且つ困窮者並に貧者を養え。

لِيَشْهَدُوا مَنَافِعَ لَهُمْ وَيَذْكُرُوا اسْمَ اللَّهِ فِي  
أَيَّامٍ مَّعْلُومَاتٍ عَلَىٰ مَا رَزَقَهُمْ مِّنْ بَهِيمَةِ  
الْأَنْعَامِ فَكُلُوا مِنْهَا وَأَطْعِمُوا الْبَائِسَ الْفَقِيرَ ﴿٣٠﴾

・然る後、彼等にその欠くべからざる浄化の行為を果たさしめ、その誓いを全うさせ、而して、この由緒古い聖殿を巡周せしめよ (22:26~30)

ثُمَّ لِيَقْضُوا وِثْقَهُمْ وَيَتُوفِئُوا نُدُورَهُمْ  
وَلِيَطُوفُوا بِالْبَيْتِ الْعَتِيقِ ﴿٣١﴾

・その内部には幾多の明白な御徴がある。たとえばアブラハムの御立処。そして一度その中に入れば、誰でも安全が保証される。聖殿へ巡礼することは、人間としての義務である一彼處へ旅し得る人々にとって—アッラーに対して。信じない者には、思い起こさせよ、まことにアッラーは一切から超越して自足し得るお方であることを。(3:98)

الحج: ٢٦ - ٣٠

فِيهِ ءَايَاتٌ مُّبِينَاتٌ مَّقَامُ إِبْرَاهِيمَ وَمَنْ دَخَلَهُ كَانَ  
ءَامِنًا وَلِلَّهِ عَلَى النَّاسِ حُجُّ الْبَيْتِ مَنِ اسْتَطَاعَ  
إِلَيْهِ سَبِيلًا وَمَنْ كَفَرَ فَإِنَّ اللَّهَ غَنِيٌّ عَنِ  
الْعَالَمِينَ ﴿٣٢﴾

آل عمران: ٩٨

・巡礼月はよく世間に知られている。誰にでもあれ、これらの月に巡礼をなそうと決意した者は、巡礼中に口汚い言葉を吐いたり、罪を犯したり、喧嘩口論などいたさぬこと、忘れまいぞ。お前たちが善行をなせば、アッラーはそれを御存知である。(2:198)

الْحَجُّ أَشْهُرٌ مَّعْلُومَاتٌ فَمَنْ فَرَضَ فِيهِنَّ  
الْحَجَّ فَلَارْفَثٌ وَلَا فُسُوقٌ وَلَا جِدَالَ فِي  
الْحَجِّ وَمَا تَفَعَّلُوا مِنْ خَيْرٍ يَعْلَمُهُ اللَّهُ  
وَتَكْزُودُوا فَإِنَّ خَيْرَ الزَّادِ التَّقْوَىٰ  
وَأَنْتَقُونَ يَتَأُولَىٰ الْأَلْبَابِ ﴿٣٣﴾

البقرة: ١٩٨



## 10 全人類への聖なるメッセージの口伝

アラーのメッセージを伝えるには、関連する人々の態度に影響を及ぼす可能性のあるあらゆる要因に注意を払わなければいけない。目的は、神のお召しを感謝し、それに答えることだということ覚えておくべきである。この原則は、ファラオがいかにして、接近し、警告をうけるべきかということに関して、モーゼとアロンに与えられた指示のなかに、よく示されている。

## 10. 聖なるメッセージの全人類への伝達

### DELIVERY OF THE HOLY MESSAGE TO THE WHOLE OF MANKIND

- 人々をアラーへと誘い、善事をなし、「げに我は帰依者の一人なり」と云う人の言葉に優る善言あるか？
- 善悪は一律に非ず。善を以て悪を撃退せよ。しからば、そら、対立する間柄でも親友となるに至らん。
- されど、<sup>ح</sup>芝を授かる者は堅忍不拔な者のみか、或いは、大へん幸運な者のみなり。  
(41 : 34~36)
- 知恵と熱心な勧めによって人々を主の道に招き、最善な方法で人々を説得せよ。主は、道を踏みはずした者、また正しく導かれる者を最もよく知り給う。

وَمَنْ أَحْسَنُ قَوْلًا مِّمَّن دَعَا إِلَى اللَّهِ وَعَمِلَ  
صَالِحًا وَقَالَ إِنِّي مِنَ الْمُسْلِمِينَ ﴿٣٤﴾  
وَلَا تَسْتَوِي الْحَسَنَةُ وَلَا السَّيِّئَةُ ادْفَعْ بِالَّتِي هِيَ  
أَحْسَنُ فَإِذَا الَّذِي بَيْنَكَ وَبَيْنَهُ عَدَاوَةٌ كَأَنَّهُ  
وَلِيٌّ حَمِيمٌ ﴿٣٥﴾

وَمَا يُلْقِيهَا إِلَّا الَّذِينَ صَبَرُوا وَمَا يُلْقِيهَا إِلَّا ذُو  
حِظِّ عَظِيمٍ ﴿٣٦﴾ حم السجدة: ٣٤ - ٣٦  
ادْعُ إِلَى سَبِيلِ رَبِّكَ بِالْحُكْمَةِ وَالْمَوْعِظَةِ الْحَسَنَةِ  
وَجِدْ لَهُم بِالَّتِي هِيَ أَحْسَنُ إِنَّ رَبَّكَ هُوَ أَعْلَمُ  
بِمَنْ ضَلَّ عَنْ سَبِيلِهِ وَهُوَ أَعْلَمُ بِالْمُهْتَدِينَ ﴿٣٧﴾

# 聖なるメッセージの全人類への伝達

・お前たち迫害者を懲しめんと欲するなら、蒙った被害と同じ程度に之をなせ。然しながら、もし堪忍しうるなら、堪忍するにしくはなし。

・預言者よ、汝、我慢強くあれ。されど、汝の忍耐はアッラーの加護にてのみ可能なり。彼等のために心を悩ますなかれ、また彼等の悪計に屈折するなかれ。

・げにアッラーは、義しい者、善行を積む者と偕にいまし給う。(16 : 126~129)

・もし誰が多神教徒が汝に保護を請わば、之を保護してアッラーの言葉を聞かしめ、しかる後に彼を安全な場所に送り届けよ。そは彼等が無知の民なるが故なり。(9 : 6)

・されど、邪神を崇めることを避け、改悛してアッラーの許へ帰る者一彼等には朗報あり。されば、わが僕らに朗報を伝えよ。

・神託に耳を傾け、その中の最善なるところに従う人々に。アッラーが導くは彼等なり、彼等は思慮ある人々なり。(39 : 18~19)

وَإِنْ عَاقَبْتُمْ فَعَاقِبُوا بِمِثْلِ مَا عَاقَبْتُمْ بِهِ  
وَلَيْنَ صَبْرٌ لَّهُمْ خَيْرٌ لِّلصَّابِرِينَ

وَأَصْبِرْ وَمَا صَبْرُكَ إِلَّا بِاللَّهِ وَلَا تَحْزَنْ عَلَيْهِمْ  
وَلَا تَكُ فِي ضَيْقٍ مِّمَّا يَمْكُرُونَ

إِنَّ اللَّهَ مَعَ الَّذِينَ اتَّقَوْا وَالَّذِينَ هُمْ يُحْسِنُونَ  
النحل ١٢٦ - ١٢٩

وَإِنْ أَحَدٌ مِنَ الْمُشْرِكِينَ اسْتَجَارَكَ فَأَجِرْهُ حَتَّى  
يَسْمَعَ كَلِمَ اللَّهِ ثُمَّ ابْلِغْهُ مَا آمَنَ بِهِ ذَلِكَ بِأَنَّهُمْ قَوْمٌ لَا  
يَعْلَمُونَ

التوبة : ٦

وَالَّذِينَ اجْتَنَبُوا الطَّاغُوتَ أَنْ يَعْبُدُوهَا وَأَنَابُوا إِلَى اللَّهِ لَهُمُ  
الْبَشْرَىٰ فَبَشِّرْ عِبَادِ  
الَّذِينَ يَسْتَمِعُونَ الْقَوْلَ فَيَتَّبِعُونَ أَحْسَنَهُ أُولَٰئِكَ  
الَّذِينَ هَدَى اللَّهُ وَأُولَٰئِكَ هُمُ أُولُو الْأَلْبَابِ

الزمر : ١٨ - ١٩

## 11 礼儀、倫理、風習

クルアーンは、人生を拒絶したり、しりぞいたりするのではなく、人生を受け入れることを教えている。イスラム教において、修道生活や禁欲主義は認められていない。正しき生活を営み、神により与えられた能力や賜物を適切に、調和をとって利用することが、人生の規律である。この一般的概念のもとで、クルアーンは、道徳的、精神的価値を助長すべき詳細にわたる指示を制定している。すべての能力が、慈善に富み、調和しながら発達していくことが目的なのである。

### 11. 作法、倫理、慣習

#### ETIQUETTE—ETHICS—MANNERS

- げに信者はみな兄弟なり。されば、お前たち慈悲に浴せんがために、兄弟融和させアッラーを畏れ敬え。
- おお、汝等、信徒たちよ！人々に他人を嘲笑させるなかれ。相手側が優るかも知らぬ。女の場合にもほかの女を嘲笑させるなかれ。相手側が優るかも知らぬ。また、互に中傷するなかれ。また、渾名で呼び合うなかれ。信仰を告白した後の悪評は、悪むべし。而して、之を悔い改めざる徒輩は、悪人なり。

إِنَّمَا الْمُؤْمِنُونَ إِخْوَةٌ فَأَصْلِحُوا بَيْنَ أَخَوَيْكُمْ وَاتَّقُوا  
اللَّهَ لَعَلَّكُمْ تُرْحَمُونَ ﴿١٠٦﴾

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا لَا يَسْخَرُ قَوْمٌ مِنْ قَوْمٍ عَسَىٰ أَنْ  
يَكُونُوا خَيْرًا مِنْهُمْ وَلَا نِسَاءٌ مِنْ نِسَاءٍ عَسَىٰ أَنْ يَكُنَّ خَيْرًا  
مِّنْهُنَّ وَلَا تَلْمِزُوا أَنفُسَكُمْ وَلَا تَنَابَزُوا بِالْأَلْسِنِ  
بِئْسَ الْأَسْمُ الْفُسُوقُ بَعْدَ الْإِيمَانِ وَمَنْ لَّمْ يَتُبْ  
فَأُولَٰئِكَ هُمُ الظَّالِمُونَ ﴿١٠٧﴾

- おお、汝等、信徒たちよ！やたらと猜疑するなかれ。猜疑も場合によっては、罪なり。また、

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا اجْتَنِبُوا كَثِيرًا مِّنَ الظَّنِّ إِنَّ بَعْضَ

# 作法、倫理、慣習

互に探り合い、陰口をきくことなかれ。お前たちのうち誰か死せる兄弟の肉を食するを欲すや？必ずそれを忌むべし。されば、アッラーを畏れ敬え。げにアッラーは、幾たびとなく憐れみひるがへに翻り、慈悲深くまします。

(49: 11~13)

・アッラーを崇拜せよ、何者をもアッラーと併せ併せ祭るなかれ。父母に親切を尽くせ、それから親戚あひだや孤子や貧しい人、血族の隣人や近くに住む他人にも、そしてお前たちのそばにいる仲間や旅行者、またお前たちの右手の所有する者にも亦然り。まことにアッラーは傲慢不遜なる者を愛し給わぬ。

・自ら吝嗇ひんげんな者は他人にも吝嗇を勧め、アッラーが与え賜えるものを隠蔽するなり。われらはかくの如き不信心者どもには屈辱的な刑罰を用意しておいた。

・また他人に見せびらかすためにその財を費し、アッラーも最後の日も信じない者にもこれを用意しておいた。誰であれサタンを仲間を持つ者は、悪いやつを仲間にしたというもの。

(4: 37~39)

・げに、アッラーは、正義と善行並に親族に対する贈与を命じ給い、醜行と邪悪並に背逆を禁じ給う。かく誡め給うは、お前たちを留意せしめんがためなり。

・お前たちアッラーと約束したならば、その約束

الظَّنِّ إِنَّهُمْ وَلَا تَجَسَّسُوا وَلَا يَغْتَبَ بَعْضُكُم بَعْضًا  
أَيُّبْتُ أَحَدَكُمْ أَنْ يَأْكُلَ لَحْمَ أَخِيهِ مَيْتًا  
فَكَرِهْتُمُوهُ وَاتَّقُوا اللَّهَ إِنَّ اللَّهَ تَوَّابٌ رَحِيمٌ

الحجرات: 11 - 13

وَأَعْبُدُوا اللَّهَ وَلَا تُشْرِكُوا بِهِ شَيْئًا  
وَبِالْوَالِدَيْنِ إِحْسَانًا وَبِذِي الْقُرْبَىٰ وَالْيَتَامَىٰ  
وَالْمَسْكِينِ وَالْجَارِ ذِي الْقُرْبَىٰ وَالْجَارِ  
الْجُنُبِ وَالصَّابِحِ بِالْجَنبِ وَأَبْنِ  
السَّبِيلِ وَمَا مَلَكَتْ أَيْمَانُكُمْ إِنَّ اللَّهَ لَا  
يُحِبُّ مَنْ كَانَ مُخْتَالًا فَخُورًا

الَّذِينَ يَبْخُلُونَ وَيَأْمُرُونَ النَّاسَ  
بِالْبُخْلِ وَيَكْتُمُونَ مَا آتَاهُمُ اللَّهُ  
مِنْ فَضْلِهِ وَأَعْتَدْنَا لِلْكَافِرِينَ عَذَابًا  
مُهِينًا

وَالَّذِينَ يُنْفِقُونَ أَمْوَالَهُمْ رِئَاءَ النَّاسِ وَلَا  
يُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ وَلَا بِالْيَوْمِ الْآخِرِ وَمَنْ يَكُنِ  
الشَّيْطَانُ لَهُ قَرِينًا فَسَاءَ قَرِينًا

النساء: 37 - 39

إِنَّ اللَّهَ يَأْمُرُ بِالْعَدْلِ وَالْإِحْسَانِ وَإِيتَايَ ذِي  
الْقُرْبَىٰ وَيَنْهَىٰ عَنِ الْفَحْشَاءِ وَالْمُنْكَرِ  
وَالْبَغْيِ يَعِظُكُمْ لَعَلَّكُمْ تَذَكَّرُونَ

وَأَوْفُوا بِعَهْدِ اللَّهِ إِذَا عَاهَدْتُمْ وَلَا تَنْقُضُوا

## 作法、倫理、慣習

を全うせよ。誓約を確認し、アッラーを証人とした後に之を破ることなかれ。アッラーはお前たちの行為を確実に知り給う。

- せっかく紡いだ糸を解す女の如くなるなかれ。いかに一方の集団が他方より優勢になったからといって、誓約を策略の手段に使うことなかれ。アッラーは之によってお前たちを試みんとす。されば、復活の日に於て、彼はお前たちが意見を異にする事柄を必ずお前たちに明確にせん。

(16 : 91~93)

الْأَيْمَنَ بَعْدَ تَوْكِيدِهَا وَقَدْ جَعَلْتُمُ اللَّهَ  
عَلَيْكُمْ كَيْفِيًّا إِنَّ اللَّهَ يَعْلَمُ مَا تَعْمَلُونَ ﴿٩١﴾  
وَلَا تَكُونُوا كَالَّذِي نَفَضَتْ غَزْلَهَا مِنْ بَعْدِ قُوَّةٍ  
أَنَّكَ تَأْتِيهَا فَتَكُونُ أَتَمَّنْكُمْ دَخَلًا بَيْنَكُمْ أَنْ  
تَكُونَ أُمَّةً هِيَ أَرْبَى مِنْ أُمَّةٍ إِنَّمَا يَبْلُوكُمْ  
اللَّهُ بِهَبِّهِ وَلِيَبْلِيَنَ لَكُمْ يَوْمَ الْقِيَامَةِ مَا كُنتُمْ فِيهِ  
تَخْلِفُونَ ﴿٩٢﴾

النحل : ٩١ - ٩٣

- おお、汝等信徒たちよ！アッラーの前に証言する時は、たとえお前たち自身、又は両親、又は親族に逆らっても、必ず公正を遵守せよ。富者であろうが貧者であろうが、アッラーはお前たちより以上に両者を気にかけておられるのだ。従って、公正に振る舞えるよう我欲に追隨してはならぬ。またもし真実を隠し、証言を忌避すならば、アッラーはお前たちの所業をよく御存知だということを忘れまいぞ。(4 : 136)

يَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا كُونُوا قَوَّامِينَ بِالْقِسْطِ شُهَدَاءَ  
لِلَّهِ وَلَوْ عَلَىٰ أَنْفُسِكُمْ أَوِ الْوَالِدِينَ وَالْأَقْرَبِينَ إِنَّ  
يَكُنْ غَنِيًّا أَوْ فَقِيرًا فَاللَّهُ أَوْلَىٰ بِهِمَا فَلَا تَتَّبِعُوا  
الْهَوَىٰ أَنْ تَعْدِلُوا وَإِنْ تَلَوْا أَوْ تَعْرَضُوا فَأِنَّ اللَّهَ  
كَانَ بِمَا تَعْمَلُونَ خَبِيرًا ﴿١٣٦﴾

النساء : ١٣٦

- アッラーは衆人の前で汚い言葉で大声に喋ののしることをお好みにはならぬ。但し、不当に遇せられた者の場合は別である。まことにアッラーはすべてを聴き、すべてを知り給う。
- お前たちが善行を公然としようが、また隠れてそれをなそうが、被った損害を赦してやろうが、アッラーは確かに罪障を寛恕し、全能者であらせられる。(4 : 149~150)

لَا يُحِبُّ اللَّهُ الْجَهْرَ بِالسُّوِّءِ مِنَ الْقَوْلِ إِلَّا مَنْ ظَلَمَ  
وَكَانَ اللَّهُ سَمِيعًا عَلِيمًا ﴿١٤٩﴾  
إِنْ تُبْدُوا خَيْرًا أَوْ تُخْفُوهُ أَوْ تَعْفُوا عَنْ سُوءٍ فَإِنَّ  
اللَّهَ كَانَ عَفْوًا قَدِيرًا ﴿١٥٠﴾

النساء : ١٤٩ - ١٥٠

- おお、汝等信徒たちよ！アッラーのために断固として、正義の証人たれ。如何なる集団へも敵意をかり立てて正義に悖る行為をするなかれ。

يَأْتِيهَا الَّذِينَ الَّذِينَ ءَامَنُوا كُونُوا قَوَّامِينَ لِلَّهِ شُهَدَاءَ  
بِالْقِسْطِ وَلَا يَجْرِمَنَّكُمْ شَتَاؤُكُمْ قَوْمٍ عَلَىٰ

常に公正であれ。

アッラーを畏れよ。まことにアッラーはお前たちの所業はすべて御承知であらせられる。

- アッラーは信心深く善い行いをする人々には約束し給うた、彼等はお赦しと大いなる褒償があると。
- だが信ぜず、われらの神を拒否する者ども、彼等は地獄の徒輩なり。 (5 : 9~11)

أَلَا تَعْدِلُوا أَعْدِلُوا هُوَ أَقْرَبُ لِلتَّقْوَىٰ وَاتَّقُوا اللَّهَ إِنَّ اللَّهَ خَبِيرٌ بِمَا تَعْمَلُونَ ﴿٩﴾

وَعَدَ اللَّهُ الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ لَهُمْ مَغْفِرَةٌ وَأَجْرٌ عَظِيمٌ ﴿١٠﴾

وَالَّذِينَ كَفَرُوا وَكَذَّبُوا بِآيَاتِنَا أُولَٰئِكَ أَصْحَابُ الْجَحِيمِ ﴿١١﴾

المائة: ٩ - ١١

وَلَا تَقْنَلُوا أَوْلَادَكُمْ خَشِيَةَ إِمْلَاقٍ تَنْزِفُهُمْ وَإِنَّا كَرِيمُونَ ﴿١٢﴾

وَلَا تَقْرَبُوا الزَّيْنَىٰ إِنَّهُ كَانَ فَاحِشَةً وَسَاءَ سَبِيلًا ﴿١٣﴾

وَلَا تَقْتُلُوا النَّفْسَ الَّتِي حَرَّمَ اللَّهُ إِلَّا بِالْحَقِّ وَمَن قُتِلَ مَظْلُومًا فَقَدْ جَعَلْنَا لَوْلِيَّهِ سُلْطَانًا فَلَا يُسْرِ فِي الْقَتْلِ إِنَّهُ كَانَ مَنْصُورًا ﴿١٤﴾

وَلَا تَقْرَبُوا مَالَ الْيَتِيمِ إِلَّا بِالَّتِي هِيَ أَحْسَنُ حَتَّىٰ يَبْلُغَ أَشُدَّهُ وَأَوْفُوا بِالْعَهْدِ إِنَّ الْعَهْدَ كَانَ مَسْئُولًا ﴿١٥﴾

وَأَوْفُوا الْكَيْلَ إِذَا كَلَّمْتُمْ زِينُوا بِالْقِسْطِ الْمُسْتَقِيمِ ﴿١٦﴾

ذَٰلِكَ خَيْرٌ وَأَحْسَنُ تَأْوِيلًا ﴿١٧﴾

وَلَا تَقْفُ مَا لَيْسَ لَكَ بِهِ عِلْمٌ إِنَّ السَّمْعَ وَالْبَصَرَ وَالْفُؤَادَ كُلُّ أُولَٰئِكَ كَانَ عَنْهُ مَسْئُولًا ﴿١٨﴾

- また、姦通を斥けよ。そは醜悪なり、罪悪なり。
- 而して、正当な理由なしにアッラーが禁じたる者を殺すなかれ。何人にせよ不当に殺害される場合は、その相続人にわれらは報復の権利を認めたり。然れども、その報復殺害は規定された限度を越えるなかれ、なんととなれば、法によって擁護されるが故に。
- 孤児が成長に達するまでは、その財産を殖やすのでなければ、之に手を触れるなかれ。而して契約を全うせよ。契約は必ず糾明せらるるべし。
- お前たち量る場合は、秤目を十分に与え、また正確い天秤を以て量れ。その方が立派であり、結局は得となる。
- 己れの知らざることに従うなかれ。げに耳、目、心一皆これ等は必ず釈明を求めらるるべし。
- 横柄に地を歩むなかれ、なんととなれば、汝大地を引き裂く能わず、また山の高さにも達する能わず。

## 作法、倫理、慣習

---

- これ等すべては、汝の主から見れば、憎むべき  
罪悪なり。(17 : 32~39)

كُلُّ ذَٰلِكَ كَانَ سَيِّئًا عِنْدَ رَبِّكَ مَكْرُوهًا ﴿٣٩﴾

بنی اسرائیل : ۳۲ - ۳۹

## 12 経済組織の基本原則

イスラム教の基本的経済概念は、全てのものの絶対的有権は、神のみに属するということである。個人の法的所有権、つまり、財産の所有、使用、譲渡の権利は、イスラム教では、認められ、保護されてはいるが、全ての所有権は、社会の全分野が、全ての富を公正に分けあうのだという道徳的義務を受けるものなのである。この義務の一部は、法的形態をとり、法的制裁を通じ効力を生じるが、大部分は、全ての関連する者たちが最高の精神的、道徳的恩恵に到達すべきだという欲求を通してなされる自発的努力により、確実になるのである。

---

### 12. 基本的経済原則

#### BASIC PRINCIPLES OF ECONOMIC SYSTEM

- われらが天使たちに向って「アダムに服従せよ」と云いし時、人々は皆従いたり。なれど、イブリースは服さざりき。彼は拒みぬ。
- そこで、われらは云えり「アダムよ、この者は、汝並に汝の妻の敵なり。されば、お前たち兩人、この者に樂園から逐い出されて失敗せぬよう気をつけよ。
- 此の園では、汝は飢えず、また裸ならず。渴きを覚えず、また陽にさらされることもなからん」と。

وَإِذْ قُلْنَا لِلْمَلَائِكَةِ اسْجُدُوا لِآدَمَ فَسَجَدُوا  
إِلَّا إِبْلِيسَ أَبَى

فَقُلْنَا يَا آدَمُ إِنَّ هَذَا عَدُوٌّ لَكَ وَلِزَوْجِكَ فَلَا تَخْرُجَنَّكَ  
مِنَ الْجَنَّةِ فَتَشْقَى

إِنَّ لَكَ أَلًا يَجُوعُ فِيهَا وَلَا تَعْرِى  
وَأَنَّكَ لَا تَظْمَأُ فِيهَا وَلَا تَصْحَى

(20 : 117~120)



## 基本的經濟原則

- お前たちの富をお互いに無益なことに費やしてはならぬ。また裁判官に賄賂を贈って、他人の財産の一部を、承知のうで不法にむさぼり食ってはならぬ。(2 : 189)

وَلَا تَأْكُلُوا أَمْوَالَكُمْ بَيْنَكُمْ بِالْبَاطِلِ وَتُدْلُوا بِهَا إِلَى الْحُكَّامِ لِتَأْكُلُوا فَرِيقًا مِّنْ أَمْوَالِ النَّاسِ بِالْإِثْمِ وَأَنْتُمْ تَعْلَمُونَ ﴿١٨٩﴾

البقرة: ١٨٩

- おお、汝等信徒たちよ！お前たちの財産を徒らに自分たちの間で消費するなかれ、但し相互の同意による商売は別である。またお前たち互に殺し合ってはならぬ。まことにアッラーはお前たちに慈悲深くおわれます。(4 : 30)

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَأْكُلُوا أَمْوَالَكُمْ بَيْنَكُمْ بِالْبَاطِلِ إِلَّا أَنْ تَكُونَ تِجَارَةً عَنْ تَرَاضٍ مِّنكُمْ وَلَا تَقْتُلُوا أَنْفُسَكُمْ إِنَّ اللَّهَ كَانَ بِكُمْ رَحِيمًا ﴿٣٠﴾

النساء: ٣٠

### 13 聖戦—アラーの道における至上の努力

聖戦は、敵を撃退するため、争いに全力を尽くすことを意味する。そしてその争いの対象には3つある。すなわち(1)目に見える敵、(2)サタン、(3)自分自身である。

クルアーンでは、戦争が起こる際には、生活や財産への損害を可能な限り、最小限におさえるべきであり、交戦状態は、可能な限り早急に終わらせるべきであると教えている。

---

### 13. 防衛と聖戦、神の御名の下での至高の努力

#### JIHAD CRUSADE SUPREME EFFORTS IN THE WAY OF ALLAH

- 戦を仕掛けた者への戦いは許可す、なんとなれば、彼等の方が間違っている—げにアッラーは彼等を助ける力あり—
- 「我等が主はアッラーなり」と云いしが故に不当にも家郷を逐われた人々を一もしアッラーが或る人々を用いて他の者どもを撃退せざれば、修道院、キリスト教会、猶太教会、並にイスラームの礼拝堂など、不断にそこでアッラーの御名が唱念されているところは、必ずや悉く破壊されたり。アッラーは必ず、御自分に手伝う者を助け給う。げにアッラーは強大にして、偉大にまします— (22 : 40~41)

أُذِنَ لِلَّذِينَ يُقَاتِلُونَ بِأَنَّهُمْ ظَلِمُوا وَإِن لِّلَّهِ عَلَىٰ  
نَصْرِهِمْ لَقَدِيرٌ ﴿٤٠﴾  
الَّذِينَ أُخْرِجُوا مِنْ دِيَارِهِمْ بِغَيْرِ حَقٍّ إِلَّا أَن يَقُولُوا  
رَبُّنَا اللَّهُ وَلَوْلَا دَفْعُ اللَّهِ النَّاسَ بَعْضَهُمْ بِبَعْضٍ لَّمَّا  
صَوَّمُوا وَيُبِيعُ وَصَلَوَاتٌ وَمَسَاجِدٌ يُذَكَّرُ فِيهَا  
أَسْمُ اللَّهِ كَثِيرًا وَلَيَنْصُرَنَّ اللَّهُ مَنْ يَنْصُرُهُ ﴿٤١﴾  
إِنَّ اللَّهَ لَقَوِيٌّ عَزِيزٌ ﴿٤٢﴾

الحج : ٤٠ - ٤١

# 防衛と聖戦、神の御名の下での至高の努力

- アッラーは、宗教の問題でお前たちと戦わざりし者、またお前たちを家郷より逐わざりし者にお前たちが親切をつくし、公正に遇することを禁ぜず。げにアッラーは、公正なる者を愛で給う。
- アッラーがお前たちに禁ずるは、宗教の問題でお前たちと戦い、お前たちをその家郷より追放した者、並びにその追放に手を貸した者と友誼を結ぶことのみ。何人であれ彼等を友とする者、そは罪人なり。(60 : 9~10)

لَا يَنْهَكُمُ اللَّهُ عَنِ الَّذِينَ لَمْ يُقَاتِلُوكُمْ فِي الدِّينِ وَلَمْ يُخْرِجُوكُمْ مِنْ دِيَارِكُمْ أَنْ تَبَرُّوهُمْ وَتُقْسِطُوا إِلَيْهِمْ إِنَّ اللَّهَ يُحِبُّ الْمُقْسِطِينَ ﴿٦٠﴾

إِنَّمَا يَنْهَكُمُ اللَّهُ عَنِ الَّذِينَ قَاتَلُوكُمْ فِي الدِّينِ وَأَخْرَجُوكُمْ مِنْ دِيَارِكُمْ وَظَهَرُوا عَلَيْكُمْ أَنْ تَوَلَّوهُمْ وَمَنْ يَتَوَلَّهُمْ فَأُولَئِكَ هُمُ الظَّالِمُونَ ﴿٦١﴾

المتحنة: ٩ - ١٠

- おお、汝等、信徒たちよ！お前たちが痛窟から救われる或る取り引きを、われはお前たちに指示すべきか？
- そは、アッラーと使徒を信じ、アッラーの御為に富も命も賭して戦うことなり。もしお前たち之を知らば、そはお前たちのために最善なり。(61 : 11~12)

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا هَلْ أَدُلُّكُمْ عَلَى بَيْعَةٍ يُغْبِطُكُمْ مِنْ عَذَابِ أَلِيمٍ ﴿٦١﴾  
تَوَمَّنْ بِاللَّهِ وَرَسُولِهِ وَجَاهِدُونَ فِي سَبِيلِ اللَّهِ بِأَمْوَالِكُمْ وَأَنْفُسِكُمْ ذَلِكُمْ خَيْرٌ لَكُمْ إِنْ كُنْتُمْ تَعْلَمُونَ ﴿٦٢﴾

الصف: ١١ - ١٢

- されど、われらのために励む者は、われらは之をわれらが道に導かん。げにアッラーは、常に善人と偕にあり。(29 : 70)

وَالَّذِينَ جَاهَدُوا فِينَا لَنَهْدِيَنَّهُمْ سُبُلَنَا وَإِنَّ اللَّهَ لَمَعَ الْمُحْسِنِينَ ﴿٧٠﴾

العنكبوت: ٧٠

- 信仰を受け容れ、神のために家郷を棄て、財産と生命をアッラーのために献げて奮闘努力する者は、アッラーの見地において最上位たるべし。彼等こそは勝利を得ん。(9 : 20)

الَّذِينَ آمَنُوا وَهَاجَرُوا وَجَاهَدُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ بِأَمْوَالِهِمْ وَأَنْفُسِهِمْ أَكْظَمَ دَرَجَةً عِنْدَ اللَّهِ وَأُولَئِكَ هُمُ الْفَائِزُونَ ﴿٧٠﴾

- まことに、アッラーは楽園と引換えに、信者たちの生命と財産を購えり。彼等はアッラーの道のために戦い、殺し殺される—これはアッラーが律法、福音、並にクルアーンにおいて己れ自身に義務としてかかる約束なり。誰がアッラーより約束に忠実なるものがあるか？さればお

إِنَّ اللَّهَ اشْتَرَى مِنَ الْمُؤْمِنِينَ أَنْفُسَهُمْ وَأَمْوَالَهُمْ بِآتٍ لَهُمُ الْجَنَّةُ يُقَاتِلُونَ فِي سَبِيلِ اللَّهِ فَيَقْتُلُونَ وَيُقْتَلُونَ وَعْدًا عَلَيْهِ حَقًّا فِي التَّوْرَةِ وَالْإِنْجِيلِ وَالْفُرْقَانِ وَمَنْ أَوْفَى

## 防衛と聖戦、神の御名の下での至<sup>†</sup>

前たちアッラーと結びし契約を喜べ。これぞ至高の幸福成就なり。  
(9 : 111)

- 不具者は別として、家に居残る信徒と、アッラーの道のために財産も生命も捧げて戦う者とは等しからず。アッラーは財産も生命も捧げて戦う者に、家に居残る者よりも高い位を授け給うた。アッラーはそれぞれの信徒に良き褒賞を約束し給うた。なれど、家に居残る者よりも戦う者に、高い位を授け、大なる褒賞。(4 : 96)

بِعَهْدِهِ مِنَ اللَّهِ فَاسْتَبَشِرُوا بِنِعْمَةِ اللَّهِ  
بِأَيْتِمٍ بِهِ وَذَلِكَ هُوَ الْفَوْزُ الْعَظِيمُ

التوبة: 111

لَا يَسْتَوِي الْقَاعِدُونَ مِنَ الْمُؤْمِنِينَ غَيْرُ أُولِي الضَّرَرِ  
وَالْمُجَاهِدُونَ فِي سَبِيلِ اللَّهِ بِأَمْوَالِهِمْ وَأَنْفُسِهِمْ فَضَّلَ  
اللَّهُ الْمُجَاهِدِينَ بِأَمْوَالِهِمْ وَأَنْفُسِهِمْ عَلَى الْقَاعِدِينَ  
دَرَجَةً وَكُلًّا وَعَدَ اللَّهُ الْحَسَنَىٰ وَفَضَّلَ اللَّهُ الْمُجَاهِدِينَ  
عَلَى الْقَاعِدِينَ أَجْرًا عَظِيمًا

النساء: 96

## 14 信者の資質および性格

クルアーンは、神を信じることの必要性を説き、神の存在の証拠に注意を促している。神は常に啓示により、神の言葉を送ってきたと強調している。仮に神が預言者や従者を通じて、神の属性を明示するのをやめてしまうとすれば、神の存在に対する確固たる信念は消失してしまうであろう。それ故に、人類が存在し続けるかぎり、神の啓示がある人間に必ずや伝わり続けるべきなのである。

### 14. 信者の性格と特質

#### THE QUALITY AND CHARACTER OF BELIEVERS

- また、アッラーの外に如何なる神も崇めず、正当な理由に非ざれば、アッラーの禁を破って人を殺さず、不義密通を行わざる者、これ等の者たちなり。然れども、之を犯す者は、必ず罪の報いを受くべし。
- 復活の日には、その懲罰は倍加せられ、地獄に於て屈辱の日を過ごさん。
- 但し、改悛して、信仰に入り、善行を積む者は除かれる。アッラーは彼等のために、その諸悪を善行に替え給う。アッラーは寛大にして、慈悲深くまします。
- 改悛し、而して、善行を積む者は、本当に後悔してアッラーに帰依し奉る者なり。

وَالَّذِينَ لَا يَدْعُونَ مَعَ اللَّهِ إِلَهًا آخَرَ وَلَا يَقْتُلُونَ  
النَّفْسَ الَّتِي حَرَّمَ اللَّهُ إِلَّا بِالْحَقِّ وَلَا يَزْنُونَ  
وَمَنْ يَفْعَلْ ذَلِكَ يَلْقَ أَثَامًا

يُضَاعَفْ لَهُ الْعَذَابُ يَوْمَ الْقِيَامَةِ وَيَخْلُدْ فِيهِ  
مُهَانًا

إِلَّا مَن تَابَ وَآمَنَ وَعَمِلَ عَمَلًا صَالِحًا  
فَأُولَئِكَ يَدْعُلُ اللَّهُ سَيِّئَاتِهِمْ حَسَنَاتٍ  
وَمَا كَانَ اللَّهُ غَفُورًا رَحِيمًا

وَمَنْ تَابَ وَعَمِلَ صَالِحًا فَإِنَّهُ يَتُوبُ إِلَى اللَّهِ  
مَتَابًا

## 信者の性格と特質

• また、虚偽の証言をせず、くだらぬことに遇えばその傍を威厳を以て通り過ぎる者。

وَالَّذِينَ لَا يَشْهَدُونَ الزُّورَ وَإِذَا مَرُّوا بِاللَّغْوِ  
مَرُّوا كِرَامًا

• 主の<sup>しよし</sup>愆の話が出ると、<sup>つんぱ めくら</sup>聾か盲のように倒れざる者。

وَالَّذِينَ إِذَا ذُكِرُوا بِهَا آيَاتِ رَبِّهِمْ لَمْ يَخِرُّوا  
عَلَيْهَا ضَمًّا وَعُمْيَانًا

• 「主よ、我等に目を楽しませる妻子を授けたまえ。我等を義しい人の模範たらしめよ」と云う者。

وَالَّذِينَ يَقُولُونَ رَبَّنَا هَبْ لَنَا مِنْ أَزْوَاجِنَا  
وَدُرِّبَتِنَا فَرَّةً أَعْيُنَ وَاجْعَلْ لَنَا لِمَتَّقِينَ  
إِمَامًا

• これ等の者は、その堅忍不拔き故に、天国に於て至高なる場所を賜わり、そこにて歓迎と平安とを受けん。

أُولَئِكَ يُجْزَوْنَ الْعُرْفَةَ بِمَا صَبَرُوا  
وَيُلَقَّوْنَ فِيهَا حَاجِيَةً وَسَلَامًا

• 永久に。そは素晴らしき休息処なり、素晴らしき住居なり。

خَالِدِينَ فِيهَا حَسُنَتْ مُسْتَقْرَأُومَقَامًا  
قُلْ مَا يَعْجُبُكُمْ رَبِّي لَوْلَا دَعَاؤُكُمْ فَقَدْ كَذَّبْتُمْ  
فَسَوْفَ يَكُونُ لِرَأْمًا

• 不信者に向って云え「お前たち、我が主に祈らずば、主はお前たちのことを考慮せざるべし。然るに、今お前たちは、その神託を拒みたり、天罰お前たちを必ず断ち割らん」と。

فَسَوْفَ يَكُونُ لِرَأْمًا

(25: 69~78)

الفرقان: ٦٩ - ٧٨

• 信者たちは必ず幸運を得る。

قَدْ أَفْلَحَ الْمُؤْمِنُونَ

彼等は、礼拝の時は謙り、

الَّذِينَ هُمْ فِي صَلَاتِهِمْ خَاشِعُونَ

下らぬことは一切避け、

وَالَّذِينَ هُمْ عَنِ اللَّغْوِ مُعْرِضُونَ

進んで施しを行い、

وَالَّذِينَ هُمْ لِلزَّكَاةِ فَاعِلُونَ

貞節を守る—

وَالَّذِينَ هُمْ لِقُرُوبِهِمْ حَافِظُونَ

但し、その妻たち並にその右手が所有するものは除く。その場合は罪なし。

إِلَّا عَلَىٰ أَزْوَاجِهِمْ أَوْ مَا مَلَكَتْ أَيْمَانُهُمْ فَإِنَّهُمْ

なれど、これらを越えて何かを求める者は、罪人なり。

• 然らば、お前たち兩名、主の恩典のいづれを拒むか？

غَيْرِ مُلْتَمِسِينَ

فَمَنْ آتَنَعَ وَرَاءَ ذَلِكَ فَأُولَئِكَ هُمُ الْعَادُونَ

## 信者の性格と特質

- 信託や約束に忠実で、  
礼拝を厳守する者。  
かかる人々こそ相続人、  
楽園を継ぐ者なり。彼等はそのに永久に<sup>とこしえ</sup>住み留  
まらん。  
(23 : 2 ~12)

وَالَّذِينَ هُمْ لِأَمْتِنَتِهِمْ وَعَهْدِهِمْ زَعُونَ ﴿١٢﴾

وَالَّذِينَ هُمْ عَلَى صَلَاتِهِمْ يُحَافِظُونَ ﴿١٣﴾

أُولَئِكَ هُمُ الْوَارِثُونَ ﴿١٤﴾

الَّذِينَ يَرِثُونَ الْفِرْدَوْسَ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿١٥﴾

المؤمنون: ٢ - ١٢

## 15 男女平等の権利

イスラム教の出現以前は、女性は、女性という部類として、法的権利を享受することはなかった。イスラム教は、完全な教訓の体系を確立した唯一の宗教である。人生の精神的領域、宗教的領域の両方において、女性の権利を十分に保護し、女性を男性と平等にしたのである。また、女性に独立した地位を与え、女性専有の権利を与え、女性の責任や権利を神の法の一部とした。

### 15. 男女の平等の権利について

#### EQUAL RIGHTS FOR MEN AND WOMEN

- 男でも女でも、信者にして<sup>سَيِّدًا</sup>義しい行いをする者は、われらが必ず清らかな人生を授く。また、われらは彼等が為せる最善の行為に対して必ずや報奨を授けん。(16 : 98)
- されど、善事をなす者は、男女にかかわらず、しかも信徒であれば、みな楽園に入り、<sup>نَضْرًا</sup>棗椰子の種のへこみ程も不当に遇せられないであろう。(4 : 125)
- 神に帰依した男と女、信心深い男と女、忠順な男と女、誠実な男と女、信仰に於いて耐え忍ぶ

مَنْ عَمِلَ صَالِحًا مِنْ ذَكَرٍ أَوْ أُنْثَىٰ وَهُوَ مُؤْمِنٌ  
فَلَنُحْيِيَنَّهٗ حَيٰوةً طَيِّبَةً وَلَنَجْزِيَنَّهُمْ أَجْرَهُمْ  
بِأَحْسَنِ مَا كَانُوا يَعْمَلُونَ ﴿٩٨﴾ النحل : ٩٨

وَمَنْ يَعْمَلْ مِنَ الصَّالِحَاتِ مِنْ ذَكَرٍ أَوْ  
أُنْثَىٰ وَهُوَ مُؤْمِنٌ فَأُولَٰئِكَ يَدْخُلُونَ الْجَنَّةَ وَلَا  
يُظَلَمُونَ نَقِيرًا ﴿١٢٥﴾ النساء : ١٢٥

إِنَّ الْمُسْلِمِينَ وَالْمُسْلِمَاتِ وَالْمُؤْمِنِينَ  
وَالْمُؤْمِنَاتِ وَالْقَنِينَ وَالْقَنَاتِ وَالصَّادِقِينَ وَالصَّادِقَاتِ



## 男女の平等の権利について

男と女、控え目な男と女、慈善を惜しまぬ男と女、断食を守る男と女、貞節なる男と女、断えずアッラーを念ずる男と女、これ等の者のためにアッラーは素晴らしい褒賞を用意せり。

(33 : 36)

- 「誰であれ悪をなす者は、それ相応に返報されようぞ。然るに、善事を行う者は、信者であるならば、男女の別なく楽園に入り、そこで限らない給養を賜わらん」 (40 : 41)

الصَّادِقَاتِ وَالصَّادِقِينَ وَالصَّابِرَاتِ وَالصَّابِرِينَ  
وَالْحَلِيلَاتِ وَالْحَلِيلِينَ وَالْمُتَصَدِّقَاتِ وَالْمُتَصَدِّقِينَ  
وَالصَّامِيَاتِ وَالصَّامِيِينَ وَالْحَافِظَاتِ وَالْحَافِظِينَ  
فُرُوجَهُمْ وَالْحَافِظَاتِ وَالذَّاكِرَاتِ وَالذَّاكِرِينَ اللَّهُ  
كَثِيرًا وَالذَّاكِرَاتِ أَعَدَّ اللَّهُ لَهُمْ مَغْفِرَةً وَ

أَجْرًا عَظِيمًا ﴿الأحزاب : ٣٦﴾

مَنْ عَمِلَ سَيِّئَةً فَلَا يُجْزَى إِلَّا أَمْلَهَا وَمَنْ عَمِلَ  
صَالِحًا مِنْ ذَكَرٍ أَوْ نَسَى وَهُوَ مُؤْمِنٌ  
فَأُولَئِكَ يَدْخُلُونَ الْجَنَّةَ يُرْفَعُونَ فِيهَا بِعَيْرِ

حِسَابٍ ﴿٤١﴾

المؤمن : ٤١

## 16 利息—高利貸しの禁止

クルアーンにおいて、利息と関連して使われる言葉はribaであるが、その言外の意味は一般的に理解されているような“利息”という語の意味と同一ではない。Ribaは禁じられているが、というもribaによって少数の人間の手に富がひきよせられ、仲間達への恩恵に制限が加えられてしまうことになるからである。利息を生む貸し付けの場合には、事実上、貸し主が、相手方の難局や貧苦を利用し、そこから利益を得ることになるのだ。

---

### 16. 利子—高利貸しの禁止

#### PROHIBITION OF INTEREST—USURY

• 利息をむさぼり食う輩は、サタンの狂気に襲われた者がするような立ち上り方しかできはしない。なぜなら彼等は「商売も利息を取るのと同じじゃないか」と云う。アッラーは商売はお許しになったが、利息を取ることは禁じられた。主から訓戒が降って、思いとどまるなら、過去の分は見逃してやろう。爾後のことはアッラーの掌中にあり。だが逆戻りするならば、彼等は劫火の住人となり、永遠にその中に留まるであろう。

الَّذِينَ يَأْكُلُونَ الرِّبَا لَا يَقُومُونَ إِلَّا كَمَا يَقُومُ الَّذِي يَتَخَبَّطُهُ الشَّيْطَانُ مِنَ الْمَسِّ ذَلِكَ بِأَنَّهُمْ قَالُوا إِنَّمَا الْبَيْعُ مِثْلُ الرِّبَا وَأَحَلَّ اللَّهُ الْبَيْعَ وَحَرَّمَ الرِّبَا فَمَنْ جَاءَهُ مَوْعِظَةٌ مِنْ رَبِّهِ فَانْتَهَى فَلَهُ مَا سَلَفَ وَأَمْرُهُ إِلَى اللَّهِ وَمَنْ عَادَ فَأُولَئِكَ أَصْحَابُ النَّارِ هُمْ فِيهَا

خَالِدُونَ ﴿١٦٠﴾

• アッラーは利息を消し、施しには利を生ましむるのであろう。アッラーは、誰であれ、不信心者や罪深い者を愛し給わぬ。

يَمْحَقُ اللَّهُ الرِّبَا وَيُرْبِي الصَّدَقَاتِ وَاللَّهُ لَا يُحِبُّ كُلَّ كَفَّارٍ أَثِيمٍ ﴿١٦١﴾

# 利子—高利貸しの禁止

- されど、信じて正義<sup>ただし</sup>をなし、礼拝を遵守し、定め  
の喜捨を払う者は、主より報酬を賜わり、恐怖は  
来たらず、悲哀<sup>がしみ</sup>にも置かれじ。
- おお、汝ら信徒たちよ！もし真<sup>まこと</sup>に信ずるならば、アッ  
ラーを畏れ、まだ未払いの利息を帳消しにせよ。
- だが、もしそれをなさぬならば、アッラーとその  
使徒から宣戦を受けるものと心得よ。しかし悔い  
改めるなら、元金だけは受け取ってよし。このよ  
うに、人に悪いことをしなければ、お前たちも人  
から悪いことをされないのだ。
- もし債務者が困窮している場合は、余裕が出来る  
まで猶予してやれ。借金の取り立てを免除するな  
ら、お前たちのためにはより善いことだ、もしお  
前たちこれがわかっているならば。
- お前たちがアッラーのお傍に帰されるその日を畏  
れよ。そのとき、各人は稼いだ分だけすっきり払っ  
てもらい、不当に遇されることはない。

(2 : 276~282)

إِنَّ الَّذِينَ ءَامَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ وَأَقَامُوا  
الصَّلَاةَ وَآتَوُا الزَّكَاةَ لَهُمْ أَجْرُهُمْ عِنْدَ  
رَبِّهِمْ وَلَا خَوْفٌ عَلَيْهِمْ وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ ﴿٢٧٦﴾

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا اتَّقُوا اللَّهَ وَذَرُوا مَا بَقِيَ مِنَ  
الرِّبَا إِن كُنْتُمْ مُؤْمِنِينَ ﴿٢٧٧﴾

فَإِن لَّمْ تَفْعَلُوا فَأْذَنُوا بِحَرْبٍ مِنَ اللَّهِ وَرَسُولِهِ وَإِن  
تُبْتِمُمْ فَلَكُمْ رُءُوسُ أَمْوَالِكُمْ لَا تَظْلِمُونَ وَ  
لَا تُظْلَمُونَ ﴿٢٧٨﴾

وَإِن كَانَ ذُو عُسْرَةٍ فَنَظِرَةٌ إِلَىٰ مَيْسَرَةٍ وَأَن  
تَصَدَّقُوا خَيْرٌ لَّكُمْ إِن كُنْتُمْ تَعْلَمُونَ ﴿٢٧٩﴾

وَأَتَّقُوا يَوْمًا تُرْجَعُونَ فِيهِ إِلَى اللَّهِ ثُمَّ تُوَفَّى كُلُّ  
نَفْسٍ مَّا كَسَبَتْ وَهُمْ لَا يُظْلَمُونَ ﴿٢٨٠﴾

البقرة : ٢٧٦ - ٢٨٢

## 17 預 言

クルアーンの初期に啓示された章の多くでは、クルアーンの基本的な教義、教訓を擁護する証拠として、さまざまな現象が引用されている。これらの節のいくつかには、預言、何世紀もの間に証明されてきた実践が含まれている。実践とは、文字どおりの意味である場合が多いが、ときには、比喩的な言外の意味をもつ場合もある。つまり両方の可能性があるのだ。すでに説明したごとく、その本のまさにその名前は、偉大な預言であり、目を通して目撃されてきた実践である。まさに最初の啓示は、筆をさらに利用することによって学ぶ時代がやってきたことを告げた。

(96 : 4 - 6)

## 17. 預 言

### PROPHECIES

• 彼は二つの海をわき出ださせり。二つの海はいつの日か相い見えん。

مَجَّ الْبَحْرَيْنِ يَلْتَقِيَانِ

• いま、二者の間には隔壁ありて、互に浸食する能わず。 (55 : 20~21)

بَيْنَهُمَا بَرْزَخٌ لَا يَبْغِيَانِ

• 選良並びに庶民の輩よ、天地の限界を越え得るなら、越えてみよ。されど、権能の助けなければ越える能わず。

الرَّحْمَنِ : ٢٠ - ٢١

يَمْشُرَ الْجِنَّ وَالْإِنْسَ إِنْ أَسْطَعْتُمْ أَنْ تَفْذُؤْا مِنْ  
أَفْطَارِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ فَانْفُذُوا لَأَنْفُذُونَ

إِلَّا إِيَّاسَ طَنِ

فِي أَيِّ آيَةٍ رَّبِّكُمْ تَكْذِبَانِ ﴿٣٦﴾

- 火焰と溶銅がお前たちに対して浴びせられん。  
而して、お前たち己れを守ることを得ざらん。  
(55 : 34~36)

﴿٣٦﴾ يُرْسَلُ عَلَيْكُمَا شَوْابُ مِّنْ نَّارٍ وَنُحَاسٌ فَلَا تَنْصِرَانِ ﴿٣٤﴾

الرحمن : ٣٤ - ٣٦

- 天が粉々に破裂する時、  
謹んで主の命に耳を傾ける一人はそれをなすべ  
きなり一大地が延べ広げられる
- 地の中にあるすべて吐き出し、空虚となる。
- 謹んで主の命に耳を傾ける一人はそれをなすべ  
きなり一 (84 : 2~6)

﴿٣٦﴾ إِذَا السَّمَاءُ انشَقَّتْ

﴿٣٧﴾ وَأَذْنَتْ لِرَبِّهَا وَحُقَّتْ

﴿٣٨﴾ وَإِذَا الْأَرْضُ مُدَّتْ

﴿٣٩﴾ وَأَلْقَتْ مَا فِيهَا وَتَخَلَّتْ

﴿٤٠﴾ وَأَذْنَتْ لِرَبِّهَا وَحُقَّتْ

- 懐胎十ヶ月の雌駱駝がうち捨てられる時、  
(81 : 5)

الانشقاق : ٢ - ٦

﴿٤١﴾ وَإِذَا الْعِشَارُ عُطِّلَتْ

التكوير : ٥

- さまざまなる民が合わせもたらされる時、  
(81 : 8)

﴿٤٢﴾ وَإِذَا الْنُفُوسُ زُوِّجَتْ

- 書籍が広く普及する時、
- 天が剥き出しにされる時、  
(81 : 11~12)

﴿٤٣﴾ وَإِذَا الصُّحُفُ نُشِرَتْ

﴿٤٤﴾ وَإِذَا السَّمَاءُ كُشِطَتْ

التكوير : ١١ - ١٢

- 大地が激しく揺れ動かされ、  
中の荷を吹き上げる時、  
人類は云う「如何がしたか？」と。  
その日こそ、大地は諸々の消息を語らん、  
なんとになれば、主が大地に命じたるが故に。
- その日こそ、人々は種々なる集団に分れて、己  
が所業の成果を示されるために現われ来たらん。

﴿٤٥﴾ إِذَا زُلْزِلَتِ الْأَرْضُ زِلْزَالَهَا

﴿٤٦﴾ وَأَخْرَجَتِ الْأَرْضُ أَثْقَالَهَا

﴿٤٧﴾ وَقَالَ الْإِنْسَانُ مَا لَهَا

﴿٤٨﴾ يَوْمَئِذٍ تُحَدِّثُ أَخْبَارَهَا

﴿٤٩﴾ بِأَنَّ رَبَّكَ أَوْحَىٰ لَهَا

﴿٥٠﴾ يَوْمَئِذٍ يَصْدُرُ النَّاسُ أَشْتَاتًا لِّيُرَوْا

﴿٥١﴾ أَعْمَالَهُمْ

﴿٥٢﴾ فَمَنْ يَعْمَلْ مِثْقَالَ ذَرَّةٍ خَيْرًا يَرَهُ

# 預 言

- 極く僅かでも善を行える者はその善を見、  
また、極く僅かでも悪を行える者はその悪を見  
るべし。(99 : 2～9)

وَمَنْ يَعْمَلْ مِثْقَالَ ذَرَّةٍ شَرًّا يَرَهُ ﴿٩٩﴾

الزلزال : ٢ - ٩

- 彼等は山について汝に問わん。云え「我が主<sup>かれ</sup>之を粉々に打ち砕き、塵埃<sup>ちりあかた</sup>の如く四散せん。
- 而<sup>しか</sup>して、之<sup>かれ</sup>を平坦なる不毛の荒野となし、汝はそこに、何んの窪みも突起するところも見ざるべし」と。(20 : 106～108)

وَسَأَلُونَكَ عَنِ الْجِبَالِ فَقُلْ يَنْسِفُهَا رَبِّي نَسْفًا ﴿١٠٦﴾

فَيَذَرُهَا قَاعًا صَفْصَفًا ﴿١٠٧﴾

لَا تَرَى فِيهَا عِوَجًا وَلَا أَمْتًا ﴿١٠٨﴾

طه : ١٠٦ - ١٠٨

- だが、判決が彼等<sup>かれら</sup>に下される時は、われらは大地から或種の<sup>はいきん</sup>黴菌を彼等にもたらさん。そは彼等<sup>かれら</sup>を害すべし、なんとなれば、われらが神<sup>しん</sup>兆を信ぜざりしが故に。(27 : 83)

وَإِذَا وَقَعَ الْقَوْلُ عَلَيْهِمْ أَخْرَجْنَا لَهُمْ دَابَّةً مِّنَ الْأَرْضِ ﴿٢٧﴾

تُكَلِّمُهُم أَنَّ النَّاسَ كَانُوا بِآيَاتِنَا لَا يُوقِنُونَ ﴿٢٨﴾

النمل : ٨٣

- 目がくらみ、
- 月は蝕<sup>く</sup>けり、
- 日月が合体する時、

فَإِذَا بَرِقَ الْبَصَرُ ﴿٢٩﴾

وَحَسَفَ الْقَمَرُ ﴿٣٠﴾

وَجُمِعَ الشَّمْسُ وَالْقَمَرُ ﴿٣١﴾

(75 : 8～10)

القيامة : ٨ - ١٠

## 18 自然に関する観察

クルアーン独特の特質のひとつに、1400年も経っていながら、後の研究で誤りであると証明されたような、自然に対する記述は、何もしていないということがある。多くの節は、最近の科学的調査結果に言及しているが、他の節では、今だ研究待ちといった状態の現象をも示唆しているのだ。ほんの少しの節のみが、クルアーンに含まれている自然への非常に数多き言及の言外の意味を説明するため選択されているのだ。

### 18. 自然に関する観察

#### OBSERVATIONS RELATING TO NATURE

- 天地の創造、並びにその間に撒き散らし給うた生きとし生けるものも、また彼の神兆の中にあり。而して、彼は、それ等をその欲する時に召集し得る能力あり。(42 : 30)

وَمِنْ آيَاتِهِ خَلْقُ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَمَا بَيْنَهُمَا مِنْ دَابَّةٍ وَهُوَ عَلَىٰ جَمْعِهِمْ إِذَا يَشَاءُ قَدِيرٌ ﴿٣٠﴾

الشورى : ٣٠

- また、彼こそは一箇の魂よりお前たちを作り出し、住居と宿るところを定め給うたお方なり。われらは理解できる人々に、神兆を詳述せり。(6 : 99)

وَهُوَ الَّذِي أَنْشَأَكُمْ مِنْ نَفْسٍ وَاحِدَةٍ فَمُسْتَقَرٌّ وَمُسْتَوْدَعٌ ﴿٩٩﴾ قَدْ فَصَّلْنَا الْآيَاتِ لِقَوْمٍ يَفْقَهُونَ ﴿٩٩﴾

الأنعام : ٩٩

- 汝等人間どもよ！汝等の主を畏れまつれ、主は一箇の魂より、お前たちを創造し、その一部か

يَا أَيُّهَا النَّاسُ اتَّقُوا رَبَّكُمُ الَّذِي خَلَقَكُمْ مِنْ نَفْسٍ وَاحِدَةٍ وَ

# 自然に関する観察

ら配偶者を創造し、その彼等兩名から多くの男女を殖やし給うたお方におわれます。アッラーを畏れまつれ、その御名においてお前たち相互に頼みごとを請い求めり。とりわけ血族関係の絆を重んずる彼を畏れまつれ。まことにアッラーはいつもお前たちを監視し給う。(4 : 2)

طَلَقَ مِنْهَا زَوْجَهَا وَبَثَّ مِنْهُمَا رِجَالًا كَثِيرًا وَنِسَاءً وَاتَّقُوا اللَّهَ الَّذِي تَسَاءَلُونَ بِهِ وَالْأَرْحَامَ إِنَّ اللَّهَ كَانَ عَلَيْكُمْ رَقِيبًا

النساء : ٢

・彼こそは、御心のままに、お前たちを胎内に形作り給うた御方。彼以外に神はなく、雄大にして、賢哲におられます。(3 : 7)

هُوَ الَّذِي يُصَوِّرُكُمْ فِي الْأَرْحَامِ كَيْفَ يَشَاءُ لَإِلَهِهِ الْأَلْهَاءُ الْعَزِيزُ الْحَكِيمُ

آل عمران : ٧

・汝はアッラーが真理に基づいて、天地を創り給いたることを知らざるか？アッラーもし欲しなば、彼はお前たちを取り除き、新たな創造を以て之に代えること可能なり。(14 : 20)

أَلَمْ تَرَ أَنَّ اللَّهَ خَلَقَ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضَ بِالْحَقِّ إِنَّ بَشَاءً يَدْهَبُكُمْ وَيَأْتِ بِخَلْقٍ جَدِيدٍ

ابراهيم : ٢٠

・汝は連なる山々を見て、それがしつかりとゆるがざるものと思うなれど、それは雲の飛び去る如く移動せん。こは万物を総攬するアッラーの御業なり。彼はお前たちの所業を悉く知るしめし給う。(27 : 89)

وَتَرَى الْجِبَالَ تَحْسَبُهَا جَامِدَةً وَهِيَ تَمُرُّ مَرَّ السَّحَابِ صُنِعَ اللَّهُ الَّذِي أَنْفَقَ كُلَّ شَيْءٍ إِنَّهُ خَيْرُ مَا تَفْعَلُونَ

・おお、人々よ、復活について疑うならば考えて見よ。われらはお前たちを土から創り、次に一滴の精液、次に凝結した血、次に少しは形をなしたものの、また少しも形をなさぬ肉塊より創れり、こはお前たちにわれらが権能を証明せんがためなり。而して、われらは、欲する者を或る期間胎内に留まらしめ、然る後、嬰兒としてお前たちを出生せしめ、次いで成年に達するまで養育す。されど、お前たちの中には夭折する者もあれば、また或る者は、知りたることを悉く忘却するほどに年老いるまで留めおかれる者もある。また、汝、枯渇した大地を見ゆ、されど、われらが一たび水を降り注げば、大地は忽ち生き返り、膨張みて、あらゆる種類の美しい草木が萌え出る。(16 : 6)

يَتَأْتِيهَا النَّاسُ إِنْ كُنْتُمْ فِي رَيْبٍ مِنَ الْبَعْثِ فَإِنَّا خَلَقْنَاكُمْ مِنْ تُرَابٍ ثُمَّ مِنْ نُطْفَةٍ ثُمَّ مِنْ عَلَقَةٍ ثُمَّ مِنْ مُضْغَةٍ مُخَلَّقَةٍ وَغَيْرِ مُخَلَّقَةٍ لِنَبِّئَنَّكُمْ وَنَقِئَنَّ فِي الْأَرْحَامِ مَا نَشَاءُ إِلَىٰ أَجَلٍ مُّسَمًّى ثُمَّ نُخْرِجُكُمْ طِفْلًا ثُمَّ لِتَبْلُغُوا أَشَدَّكُمْ وَمِنْكُمْ مَنْ يُؤْتُونَ وَمِنْكُمْ مَنْ يُرَدُّ إِلَىٰ أَرْدَلِ الْعُمُرِ لِكَيْلَا يَعْلَمَ مِنْ بَعْدِ عِلْمٍ شَيْئًا وَتَرَى الْأَرْضَ هَامِدَةً فَإِذَا أَنْزَلْنَا عَلَيْهَا الْمَاءَ اهْتَزَّتْ وَرَبَتْ وَأَنْبَتَتْ مِنْ كُلِّ رَوْحٍ يَبْرِجُ

الحج : ٦



# 自然に関する観察

- また彼は馬、驃馬、鱸馬をお前たちの乗用に、それから飾りとなすためにと創り給うた。さらに彼は、お前たちがまだ知らざるものを創造せん。(16: 9)

- 大権を掌握し給う御神を讃美せよ。彼は万物を支配し給う。
- 彼はお前たちを試みんがために、すなわちお前たちのうち誰が一番立派な振舞いをするか試さんがために、生と死とを創造せり。彼は偉力者、寛容者にまします。
- 調和せし七層の天を創造せるは、彼なり。汝は、慈悲深き神の創造にいささかの不調も見る能わず。改めて観察せよ。汝、なんらかの欠陥を見るか？

(67: 2~4)

وَالْغَيْلِ وَالْإِغَالِ وَالْحَمِيرِ لَتَرْكَبُوهَا وَزِينَةً  
يَخْلُقُ مَا لَا تَعْلَمُونَ

النحل: ٩

تَبْرَكَ الَّذِي يَدِيَهِ الْمُلْكُ وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ  
الَّذِي خَلَقَ الْمَوْتَ وَالْحَيَاةَ لِيَبْلُوَكُمْ أَيُّكُمْ أَحْسَنُ عَمَلًا  
وَهُوَ الْعَزِيزُ الْغَفُورُ

الَّذِي خَلَقَ سَبْعَ سَمَاوَاتٍ طِبَاقًا مَا تَرَى فِي خَلْقِ  
الرَّحْمَنِ مِنْ تَفَوُّتٍ فَارْجِعِ الْبَصَرَ هَلْ تَرَى مِنْ  
فُطُورٍ

## 19 聖なるクルアーンにおいて教えられる 祈り

祈りとは、神と、神を敬う人との間の力強い関係である。神の恩寵が最初に、人を神にひき寄せる。その人は、感謝の気持ちと誠実さでそれに答え、神がその人にお近づきになる。祈りにおいて、この関係は、それ自体の特性を築き上げ、それ自体の特別な結果をもたらすのである。精神的経験や精神的達成というものを理解している人は、経験の積み重ねにより、完全な信者は祈りを通じて、創造的な力を持つようになるのだということを承知しているのだ。

## 19. 聖なるコーランの教えとしての懇願

### SOME SUPPLICATIONS AS TAUGHT IN THE HOLY QURAN

• わが僕たちが、われについて汝に訊ねるならば、答えるがよい。われは近くにいる。われに祈れば、われはその懇望に応えてやる。だからわれの呼びかけに耳を傾け、われを信ぜよ。さすれば正しい道を歩んでいける。(2:187)

• また彼等のうちに云う者あり、「我等が主よ、現世でよいものを、来世でもよいものをお与えください。そして、我等のために、劫火の苦痛を除き給え」と。

これらの者どもには、自分で稼いだものに相当する分け前があるであろう。アッラーは計算することが迅速でおわします。

(2:202~203)

وَإِذَا سَأَلَكَ عِبَادِي عَنِّي فَإِنِّي قَرِيبٌ  
أُجِيبُ دَعْوَةَ الدَّاعِ إِذَا دَعَانِ فَلْيَسْتَجِيبُوا  
لِي وَلْيُؤْمِنُوا بِي لَعَلَّهُمْ يَرْشُدُونَ  
البقرة: ١٨٧

وَمِنْهُمْ مَن يَقُولُ رَبَّنَا إِنَّا فِي الدُّنْيَا  
حَسَنَةٌ وَفِي الآخِرَةِ حَسَنَةٌ وَقِنَا عَذَابَ  
النَّارِ

أُولَئِكَ لَهُمْ نَصِيبٌ مِّمَّا كَسَبُوا وَاللَّهُ سَرِيعُ  
الْحِسَابِ  
البقرة: ٢٠٢ - ٢٠٣

## 聖なるコーランの教えとしての懇願

- ・アッラーは誰にもその能力以上の荷を負わせることはない。その稼ぎしもので報酬を授け、その招きし故に懲罰を与える。我等が主よ、もし忘れることや、間違いがあっても、我々を罰し給うな、我等が主よ、我等以前の人々に負わせし如き重荷を、我々に背負し給うな。我等が主よ、我々の力では耐え忍べない荷を負わしめ給うな。我等の罪障を消滅され、我等を赦し、憐憫を垂れ給え。汝は我等が愛護者なり。されば、不信心者どもに対して、我々を助け給え。  
(9 : 287)

- ・天地の創造において、夜と昼の交替において、そこに存するものは、理解する心の人々のためには、神兆ではないか。

立っても、坐っても、横になっても、絶えずアッラーを唱念し、天地の創造に冥想する者は云う、

「我等が主よ、汝はこれを徒に創造したに非ず。否、汝に光荣あれ。我等を劫火の刑より救い給え」

- ・「我等が主よ、汝が劫火の中に投げ込めし者は、汝必らず彼を恥辱し給う。そして不義なす者は如何なる援助者もなかるべし」
- ・「我等が主よ、我等は『汝等の主を信ぜよ』と云い、我等を信仰に呼び給うた声を聴いて信者となれり。されば我等が主よ、我等の罪を赦し、犯せし数々の悪事を免除し、而て我等を正義者と共に死なしめ給え」
- ・「我等が主よ、汝の使徒たちを通じて我等に約束せしものを与え給え。而て復活の日において、我等を恥かしめ給うな。まことに汝は約束を破り給わぬ」
- ・そこで主は、彼等の祈りに応えて云えり、「わしはお前たちのうち、男にもせよ、女にもせよ、働き者のその働きを空しゆすることはない。お

لَا يَكْفُلُ اللَّهُ نَفْسًا إِلَّا وُسْعَهَا لَهَا مَا كَسَبَتْ وَعَلَيْهَا مَا اكْتَسَبَتْ رَبَّنَا لَا تُؤَاخِذْنَا إِنْ نَسِينَا أَوْ أَخْطَأْنَا رَبَّنَا وَلَا تَحْمِلْ عَلَيْنَا إَصْرًا كَمَا حَمَلْتَهُ عَلَى الَّذِينَ مِنْ قَبْلِنَا رَبَّنَا وَلَا تُحَمِّلْنَا مَا لِطَافَةِ لَنَا بِهِ ۗ وَاعْفُ عَنَّا وَاعْفِرْنَا وَارْحَمْنَا أَنْتَ مَوْلَانَا فَانصُرْنَا عَلَى الْقَوْمِ الْكَافِرِينَ ﴿٢٨٧﴾

البقرة : 287

إِنَّ فِي خَلْقِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَاخْتِلَافِ اللَّيْلِ وَالنَّهَارِ لآيَاتٍ لِأُولِي الْأَلْبَابِ ﴿٢٨٨﴾

الَّذِينَ يَذْكُرُونَ اللَّهَ قِيَمًا وَقُعُودًا وَعَلَىٰ جُنُوبِهِمْ وَيَتَفَكَّرُونَ فِي خَلْقِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ رَبَّنَا مَا خَلَقْتَ هَذَا بَطْلًا سُبْحَانَكَ قِنَاعًا عَذَابِ النَّارِ ﴿٢٨٩﴾ رَبَّنَا إِنَّكَ مَنْ تَدْخُلِ النَّارَ فَقَدْ أَخْرَجْتَهُ وَمَا لِلظَّالِمِينَ مِنْ أَنْصَارٍ ﴿٢٩٠﴾

رَبَّنَا إِنَّا أَسْمَعُكَ مَنَادًا يَأْتِي الْإِيمَانَ أَنْ أَءَامِنُوا بِرَبِّكُمْ فَتَأْمُرُ رَبَّنَا فَاعْفِرْنَا ذُنُوبَنَا وَكَفِّرْ عَنَّا سَيِّئَاتِنَا وَتَوَفَّنَا مَعَ الْأَبْرَارِ ﴿٢٩١﴾ رَبَّنَا وَإِنَّا مَا وَعَدْتَنَا عَلَىٰ رُسُلِكَ وَلَا نُخْرِنَا يَوْمَ الْقِيَمَةِ إِنَّكَ لَا تُخْلِفُ الْمِيعَادَ ﴿٢٩٢﴾ فَاسْتَجَابَ لَهُمْ رَبُّهُمْ أَنِّي لَا أُضِيعُ عَمَلَ عَمَلٍ مِنْكُمْ مِنْ ذَكَرٍ أَوْ أَنْتِي بَعْضُكُمْ مِنْ بَعْضٍ

## 聖なるコーランの教えとしての懇願

前たちはお互い同士、男も女も隔てはないのだ。  
彼等家郷を逐われ、移住したる者、わがために  
迫害をうけ、奮戦し斃れし人々、わしは彼等よ  
りその罪を消滅して、河川流るる楽園に入れて  
やろうぞーこれぞアッラーよりの褒賞なり。げ  
にアッラーの御許にこそ最も素晴らしき褒賞あ  
り」  
(3 : 191~196)

فَالَّذِينَ هَاجَرُوا وَأُخْرِجُوا مِنْ دِيَارِهِمْ وَأُودُوا  
فِي سَبِيلِي وَقَاتَلُوا وَقُتِلُوا لَأُكَفِّرَنَّ عَنْهُمْ  
سَيِّئَاتِهِمْ وَلَأُدْخِلَنَّهُمْ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِنْ  
تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ ثَوَابًا مِمَّنْ عِنْدَ اللَّهِ وَاللَّهُ عِنْدَهُ  
حُسْنُ الثَّوَابِ

آل عمران: ١٩١ - ١٩٦

## 20. 暗誦のための聖なるコーランの短い数章

### SOME SMALL CHAPTERS OF THE HOLY QURAN EASY TO MEMORISE

- 慈悲深く、恵み遍くアッラーの御名において。  
いつしか過ぎ行く時間にかけて、  
げに人間は常に失敗の状態にあり、  
信ずる者、義しい行いにいそしみ、真理を伝える  
べく互に励まし合い、且つ耐え忍ぶよう励まし  
合う人々以外は。 (103 : 1～4)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

وَالْعَصْرِ

إِنَّ الْإِنْسَانَ لِفِي خُسْرٍ

إِلَّا الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ وَتَوَاصَوْا

بِالْحَقِّ وَتَوَاصَوْا بِالصَّبْرِ

العصر: ١ - ٤

- 慈悲深く、恵み遍くアッラーの御名において。  
云え「汝等不信者どもよ！  
我は、お前たちが拜むものを拜まず。  
お前たちも、我が拜むものを拜まず。  
また我は、お前たちが拜むものを拜まず。お前  
たちも、我が拜むものを拜まず。  
お前たちにはお前たちの生き方あり、我には我  
が生き方あり」と。 (109 : 1～7)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

قُلْ يَا أَيُّهَا الْكَافِرُونَ

لَا أَعْبُدُ مَا تَعْبُدُونَ

وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ مَا أَعْبُدُ

وَلَا أَنَا عَابِدٌ مَّا عَبَدْتُمْ

وَلَا أَنْتُمْ عَابِدُونَ مَا أَعْبُدُ

لَكُمْ دِينُكُمْ وَلِيَ دِينِ

الكافرون ١ - ٧

# 暗誦のための聖なるコーランの短い数章

- 慈悲深く、恵み遍くアッラーの御名において。  
アッラーの助けと勝利が来たりて、  
人々が大勢アッラーの教門を叩くを見る時、  
汝その主の栄光を讃え、宥恕を乞え。げに彼は、  
幾たびとなく容赦し給う。 (110: 1～4)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
 إِذَا جَاءَ نَصْرُ اللَّهِ وَالْفَتْحُ  
 وَرَأَيْتَ النَّاسَ يَدْخُلُونَ فِي دِينِ اللَّهِ  
 أَفْوَاجًا  
 فَسَبِّحْ بِحَمْدِ رَبِّكَ وَاسْتَغْفِرْهُ إِنَّهُ كَانَ  
 تَوَّابًا

النصر: ١ - ٤

- 慈悲深く、恵み遍くアッラーの御名において。  
云え「彼こそはアッラー、独一者になり、  
自存者なり、もろ人の依り頼る御方なり。  
彼は産み給わず、また産まれ給わず、  
彼と比肩し得る者、何処にも非ず」  
(112: 1～5)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
 قُلْ هُوَ اللَّهُ أَحَدٌ  
 اللَّهُ الصَّمَدُ  
 لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ  
 لَمْ يَكُنْ لَهُ كُفُوًا أَحَدٌ

الإخلاص: ١ - ٥

- 慈悲深く、恵み遍くアッラーの御名において。  
云え「我は黎明の主に庇護を希う、  
主が創り給える悪から逃れて、  
覆い広がる暗闇の煩いから逃れて、  
結び目に息吹きかける巫女の害悪から逃れて、  
嫉む嫉妬者の災厄から逃れて」  
(113: 1～6)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
 قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ  
 مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ  
 وَمِنْ شَرِّ غَاسِقٍ إِذَا وَقَبَ  
 وَمِنْ شَرِّ النَّفَّاثَاتِ فِي الْعُقَدِ  
 وَمِنْ شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ

الفلق: ١ - ٦

# 暗誦のための聖なるコーランの短い数章

- 慈悲深く、恵み遍くアッラーの御名において。  
云え「我は人類の主に庇護を希う、  
人類の王、  
人類の神に、  
卑劣な私語者の害悪から逃れて、  
人の心にささやきかける、  
選良と庶民の輩から逃れて」

(114 : 1~7)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ النَّاسِ

مَلِكِ النَّاسِ

إِلَهِ النَّاسِ

مِنَ شَرِّ الْوَسْوَاسِ الْخَنَّاسِ

الَّذِي يُوسْوِسُ فِي صُدُورِ النَّاسِ

مِنَ الْجَنَّةِ وَالنَّاسِ

الناس : ۱ - ۷

---

*Selected Verses of the Holy Qur'ān*  
**JAPANESE**

---

Japanese translation of the selected verses of the  
Holy Qur'ān about the basic Qur'ānic teachings.

This translation is done by ;  
Mr ; Mohammad Owais Kobayashi

© ISLAM INTERNATIONAL PUBLICATIONS 1988

AVAILABLE AT.

AHMADIYYA MUSLIM CENTER

2-1602 KIFUNE, MEITOKU, NAGOYA 465 JAPAN

TEL (052) 703-1868